

40th
Anniversary
40周年記念誌



一般社団法人 大阪府作業療法士会

目 次

記念誌発刊にあたり	1
祝辞 大阪府知事職務代理者 大阪府副知事 山口信彦	2
祝辞 一般社団法人 日本作業療法士協会 会長 山本伸一	3
大阪府作業療法士会四十年史	5
大阪府作業療法士会の歩み	7
共生社会に向けての10年の歩み	8
組織図	9
各局・部・委員会紹介	10
大阪府下ブロック	31
開催学会一覧・歴代役員 部門代表	32
大阪府作業療法士会作成パンフレット	40
表彰受賞者	41
会員数・施設数・大阪府内の作業療法士養成校	43
協賛（団体・個人）	44
編集後記	56

記念誌発刊にあたり

一般社団法人 大阪府作業療法士会
会長 藤原 太郎



一般社団法人 大阪府作業療法士会は、1985年の設立以来、創立40周年を迎えることができました。この節目を迎えるにあたり、会員の皆さま、関係者の皆さま、そして府民の皆さまに心より御礼申し上げます。

40年の歩みは、多くの挑戦と成長の歴史でした。設立当初、会員数は117名でしたが、現在では約2,600名もの作業療法士が大阪の地で活躍しています。これは、医療・介護・福祉の現場はもちろん、保健・教育・労働・司法など、多様なフィールドへと活動が広がってきたことを示唆しています。

この10年は作業療法を取り巻く社会環境の転換期でもありました。

加速化する少子高齢化に対し「地域共生社会」の実現に向けた取り組みが求められる中、作業療法士の役割は、対象者の心身機能・活動への支援から、障害の有無に関わらず、生活の質（QOL）の向上・介護やフレイル予防・就労支援・学齢期の発達支援などへの関与にまで広がってきました。また、2020年のCOVID-19の蔓延により、対面活動が自粛される中、会員や府民の皆さまとのつながりを維持するためオンラインによる会議や研修開催に切り替えました。多くの制限に見舞われた辛い時期ではありましたが、現状の運営方法を考え直す機会となり、組織として活動の幅も広がったと感じます。

20～30代の若い療法士の増加は組織の活力となる中、当士会の意義を共有し、会員皆が自分らしく参加できるよう努めています。また、デジタル技術の発達や情報発信の変化に対応し、YouTube ショートドラマの公開やSNSでの情報提供など、時代に合わせた多様なコミュニケーション手段を活用しながら会員・府民への作業療法の理解促進を図ってきました。

行政や地域団体との協働深化に伴い、特に府下の介護予防事業をはじめ、学校や企業への支援など現場での実践が、少しずつ政策や研修内容にも反映されるようになってきています。こうした流れは、作業療法士が「生活者の主体的参加」を支える専門職としての認知が進み、社会の質の向上に寄与する基盤を築いていると自負しております。

40周年を迎える今、私たちはこれまでの歩みを振り返るとともに、次の10年、20年への飛躍を見据え「未来のOT宣言 –10年後のあなたを作るこの一步–」を主眼に、会員の皆さまと

- 1) 介護予防支援、ICT活用支援、就労支援、子どもの発達支援など、子どもから高齢者まで多様なライフステージに対応する作業療法の充実
- 2) 若手作業療法士がより活躍できる環境整備と継続的な生涯学修の推進
- 3) 会員同士・他職種との連携強化による、より実践的かつ体系的な支援体制の構築 に努めていきます。

この40年の歩みは、単に数字としての成長ばかりではなく、“生活を創り出す力を引き出す作業療法”を広く社会に届けてきた歴史でもあります。今後も、知識と技術を高め続けるとともに、府民に寄り添い、身近に役立つ作業療法を提供してまいります。

改めて、これまで支えてくださった全ての皆さまへ感謝申し上げますとともに、今後も一般社団法人 大阪府作業療法士会が府民の健康と幸福に寄与できるよう、会員一同、力を合わせて邁進していきたくと考えております。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

祝 辞

大阪府知事職務代理者
大阪府副知事 山口 信彦

このたび、一般社団法人大阪府作業療法士会が設立 40 周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。また、日頃から大阪府の健康医療行政の推進にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

大阪府作業療法士会におかれましては、1985 年の設立以来、長きにわたり作業療法に関する学術や技能の研鑽および作業療法士の資質向上ならびに作業療法の普及・啓発に向けた活動に取組まれ、子どもから大人、高齢者、障がいの有無に関わらず住み慣れた地域で安心して暮らせる「地域共生社会」の実現に向けた活動にご尽力され、その輪を広げてこられました。

これまでの活動を支えてこられた藤原会長をはじめ歴代の会長や関わってこられたすべての関係者の皆様に深く敬意を表します。

また、昨年開催いたしました大阪・関西万博は、皆様のご協力のおかげをもちまして盛況のうちに閉幕を迎えることができました。とりわけ、大阪府作業療法士会の皆様には、救護サポーターのボランティアスタッフとして多くの方にご活躍いただきありがとうございました。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

さて、府域においては、今後 2040 年頃に向け、医療と介護の複合ニーズを抱える 85 歳以上の高齢者の大幅な増加と生産年齢人口の減少が見込まれる中、現場を支える医療・介護従事者の皆様の持続可能な働き方を確保しながら、超高齢社会における医療ニーズの変化等に対応していくための切れ目のない体制の構築を図っていく必要があります。

中でも、府民が住み慣れた地域で「その人らしく」生活するために必要な医療・介護サービスの提供を受けられるよう、地域医療等の充実を図るとともに、府民の主体的な健康づくりをより一層推進していくためには、作業療法士の皆様のお力が欠かせません。

今後とも、大阪府作業療法士会には、府民の健康と医療、また地域の暮らしの安心を支える担い手としてのご活躍を期待いたしますとともに、大阪府の取組みに対しましても、引き続き、より一層のご理解とご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

結びに、大阪府作業療法士会のさらなるご発展と会員の皆様のご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

大阪府作業療法士会の 創立 40 周年を祝して

一般社団法人 日本作業療法士協会
会長 山本 伸一



大阪府作業療法士会の創立 40 周年記念にあたり、日本作業療法士協会を代表し、心よりお祝いを申し上げます。昭和 60 年の設立以来、大阪府民の健康と生活を支え続けてこられた歴代会長をはじめ、役員・会員の皆様のご努力に深く敬意を表します。また、「未来の OT 宣言 -10 年後のあなたを作るこの一步-」というテーマのもと、記念すべき式典の開催にご尽力された実行委員の皆様にも厚く御礼申し上げます。

振り返れば、この 10 年は作業療法士にとって大きな変革の時代でした。2011 年の東日本大震災以降、災害リハビリテーションの体制が全国的に整備され、職能としての社会的使命が再認識されました。また、地域包括ケアの推進、医療と介護の連携強化、そしてコロナ禍による生活様式の変化など、社会構造は急速に変わりました。作業療法士は、病院から在宅、地域、そして企業・学校・司法など、多様なフィールドへと活動の幅を広げ、まさに「生活を支える専門職」として存在感を高めてきたことは言うまでもありません。

大阪府作業療法士会の皆様も、地域に密着した活動を積み重ね、府民の暮らしに寄り添う数々の実践を展開されてきました。災害時の支援体制づくりや、行政との協働、そして若手育成に向けた教育活動など、その歩みは全国のモデルとなっています。この積み重ねが、今日の 40 周年という大きな節目を支えていることと存じます。

さて、「未来の OT 宣言」というテーマは、私たち一人ひとりが自らの専門性と使命を見つめ直し、次の 10 年 20 年へ向けた新たな一步を踏み出す声明とも言えます。これからの社会は、少子高齢化がさらに進み、人口減少に伴う地域の再編、テクノロジーの急速な発展、多様な生き方の共存など、これまでにない課題と可能性が交錯します。こうした時代の中で、作業療法士には「変化に対応する力」と「変化を創り出す力」の双方が求められるでしょう。

協会では、次の 10 年を見据え、「新生涯学修制度」を核とした人材育成の再構築を進めています。作業療法士が生涯を通じて学び、成長し、専門性を深化させる環境を整備することこそ、未来を拓く基盤であると考えています。また、AI やデジタル技術の導入により、臨床・教育・研究の新たな形が生まれつつありますが、どんなに社会が変わっても、作業療法の本質は「人の営みに寄り添うこと」にあります。テクノロジーを支えとしながらも、人間の尊厳を中心に据えた実践を続けること、それが次の 10 年における私たちの使命です。

「10 年後のあなたを作るこの一步」という言葉には、未来を受け身で待つのではなく、今この瞬間から自らの手で築いていくという強い意思が込められていることでしょう。未来の作業療法は、誰かが作るものではなく、今日を生きる私たち一人ひとりの実践の積み重ねによって形づくられます。大阪の地から発信される「未来の OT 宣言」が、全国の作業療法士の希望と行動の指針となり、地域に、そして社会に新たな価値を生み出していくことを心から期待しています。

結びに、大阪府作業療法士会のさらなる発展と、ここに集うすべての皆様のご健勝とご活躍を祈念し、祝辞とさせていただきます。

大阪府作業療法士会四十年史

大阪府作業療法士会の歩み

西暦(和暦)	会長	出来事
1985 (昭和 60) 年	辰巳 三代子	大阪府作業療法士会設立 (会員数 117 名) 大阪府作業療法士会ニュース発刊 第 1 回 総会開催
1986 (昭和 61) 年		第 1 回 大阪府作業療法学会開催
1987 (昭和 62) 年		大阪府作業療法士会機関誌 OT なにわ 第 1 巻第 1 号発刊
1988 (昭和 63) 年		第 8 回 近畿作業療法学会、大阪で開催 (学会長 中村春基)
1989 (昭和元) 年	松下 起士	近畿作業療法士地区連絡会廃止
1991 (平成 3) 年	中川 良裕	近畿作業療法士連絡協議会発足
1992 (平成 4) 年		第 26 回 日本作業療法学会 大阪で開催 (学会長 辰巳三代子)
1994 (平成 6) 年		第 14 回 近畿作業療法学会 大阪で開催 (学会長 長辻永喜)
1995 (平成 7) 年	上田 任克	大阪府作業療法士会設立 10 周年 (記念式典・祝賀会は阪神大震災(1995 年 1 月 17 日)のため中止)
1997 (平成 9) 年	長辻 永喜	
1999 (平成 11) 年		大阪府作業療法士会設立 15 周年記念式典開催
2000 (平成 12) 年		第 20 回 近畿作業療法学会 大阪で開催 (学会長 上田任克)
2001 (平成 13) 年		ホームページを開設
2003 (平成 15) 年		大阪府作業療法士会事務所を大阪市天王寺区寺田町に設置
2004 (平成 16) 年		会員数が 1000 名を突破
2005 (平成 17) 年		社団法人の認定を受け、社団法人 大阪府作業療法士会となる 大阪府作業療法士会設立 20 周年記念式典開催 機関誌「OT なにわ」が「大阪作業療法ジャーナル」と名称変更して 発刊開始
2006 (平成 18) 年		第 26 回 近畿作業療法学会 大阪で開催 (学会長 藤田 亘)
2012 (平成 24) 年		第 32 回 近畿作業療法学会 大阪で開催 (学会長 高畑進一)
2013 (平成 25) 年		第 47 回 日本作業療法学会 大阪で開催 (学会長 長辻永喜) 内閣府より認可を受け、一般社団法人 大阪府作業療法士会となる
2014 (平成 26) 年	上田 任克	事務所を大阪市中央区玉造へ移転
2015 (平成 27) 年		大阪府作業療法士会設立 30 周年記念講演会・式典・祝賀会開催 大阪府作業療法士連盟設立
2016 (平成 28) 年		会員数が 2000 名を突破
2017 (平成 29) 年		大阪府下のブロックを組織化
2018 (平成 30) 年	関本 充史	第 38 回 近畿作業療法学会 大阪で開催 (学会長 辻薫)
2019 (平成 31) 年		代議員制度 導入
2023 (令和 5) 年		第 1 回 新年互礼会開催
2024 (令和 6) 年	藤原 太郎	第 44 回 近畿作業療法学会 大阪で開催 (学会長 松下太)
2025 (令和 7) 年		大阪府作業療法士会設立 40 周年 2025 年日本国際博覧会 (大阪・関西万博) 救護サポーター活動

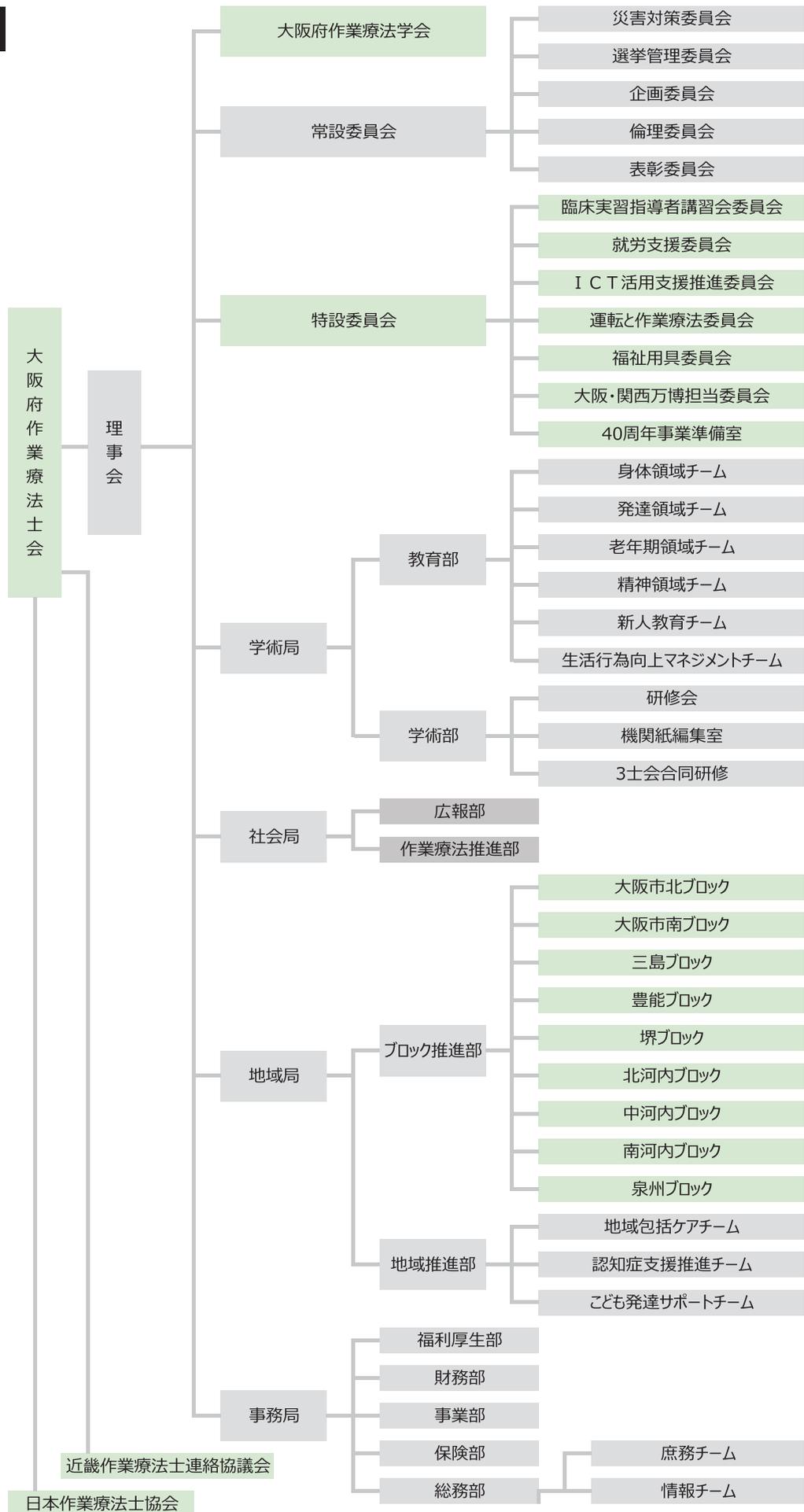
共生社会に向けての10年の歩み

西暦(和暦)	出来事
2014(平成26)年	大阪府作業療法士会 公認キャラクター オットィ誕生 地域包括ケアに向けた人材養成講座 開始 「地域子育て人材養成講座」(~2024年)
2015(平成27)年	「地域ケア会議・介護予防推進リーダー研修」
2016(平成28)年	大阪JRATの立ち上げに参加、熊本地震への災害支援
2017(平成29)年	大阪府下のブロック組織化
2018(平成30)年	大阪府・自治体からの業務委託受諾 開始 大阪北部地震・平成30年7月豪雨への災害支援
2019(平成31)年	卒後教育システムの構築(教育部:教育フォーラムの開催) 代議員制度 導入 臨床実習指導者講習会 開始 市区町村担当者の設置
2020(令和2)年	COVID-19の対応 総会・会議・研修会のWeb開催、研修会参加費無料化など 大阪府委託事業「生活課題アセスメント訪問指導者養成スクール」開始
2021(令和3)年	公式SNSによる情報配信 公式YouTubeによる動画配信 開始
2023(令和5)年	新入会オンライン申込・研修会オンライン申込システム運用開始 新人OTお祝いの会 開催開始 公式LINE 開始
2024(令和6)年	大阪府リハ三士会合同研修会 開始(学術局) 弁護士による会員窓口相談制度の設置 会員休会制度制定 ご意見箱の設置 能登半島地震への災害支援
2025(令和7)年	日本国際博覧会(大阪・関西万博)救護サポーター活動 公式サークル活動の創設(吹奏楽部、ゴルフ部)



公式キャラクター オットィ

組織図



—常設委員会—

【災害対策委員会】



- ▶委員長：塩屋博史
- ▶委員：池本恭子、木村基、中野皓介、藤本侑大、宮有雅浩、宮代奈津子
- ▶活動内容：

大阪府作業療法士会災害対策委員会は、東日本大震災を契機に 2013 年に発足しました。2016 年熊本地震、2018 年大阪北部地震および西日本豪雨、2024 年能登半島地震などにおいて、被災地での支援活動を実施するとともに、現地や東京本部でのロジスティック支援にも携わってきました。

大阪では南海トラフ地震が 30 年以内に 70～80%の確率で発生するとされており、平時・有事・復興期を見据えた備えが不可欠です。有事に向けて、日本作業療法士協会主催のシミュレーション訓練への参加や、大阪 JRAT と連携した研修会の開催、大阪作業療法学会での広報活動を行っています。

災害支援の根幹を担うのは、避難所等で活動する「D-スタッフ (JRAT Disaster Assistance Staff)」と、本部機能を支える「L-スタッフ (JRAT Logistics Staff)」です。大阪の、そして日本の安全を守る一助となるべく邁進してまいります。

【選挙管理委員会】



- ▶委員長：横山由梨子
- ▶活動内容：

常設委員会の一つであり、府士会で行われる「選挙」を取り扱う委員会です。

私は 2015 年度から選挙管理委員会を担当しており、委員は現在 1 名です。

2 年に一度の役員選挙と、2019 年度から制度開始となった 4 年に一度の代議員選挙を行っています。

公示、立候補、投票など「選挙」そのものは変わらないものですが、ネット環境の充実、情報発信の手軽さ、ペーパーレス化など、社会が大きく変化し、「選挙の方法」をいかに現在の府士会活動、府士会員の利便性に合わせていくかが課題と感じています。

いざ「選挙」について取り扱う場面では、規約に基づき、会長や理事会にも物申す、不思議な委員会です。

【企画委員会】



▶委員長：牟田博行

広報戦略チーム 内藤泰男

▶委員：井口知也、上野慶太、岸村厚志、巽絵理、田丸佳希、辻薫、花田恵介、林辰博

▶活動内容：

企画委員会は、長年副会長が担ってきた役割を見直す組織改革の一環として、2024～2025年度より新体制で運営しています。企画委員会は、府士会の将来を見据え、環境変化に応じた方向性づくりや事業計画の整理、会員の交流や学びを促す仕組みづくりなど、活動を支える“土台”を整える役割を担っています。

2024～2025年度は、総会で寄せられた「組織力向上」を重点課題とし、会員に府士会の活動をより理解してもらい取り組みを進めています。その一環として、理事・監事が参加する会員向け意見交換会を開催し、府士会の方針や目的を共有する場を設けています。

また、将来の人材確保に向け、従来の小中学校での職業講話に加え、高校生への普及を目的に委員会内に「広報戦略チーム」を設置しました。まず養成校の理事に委員として協力いただき、在校生とともに高校への出前講義を行う体制を整えています。さらに、社会局作業療法推進部とも連携し、講師派遣の仕組み化を進めています。次年度以降は近畿作業療法士連絡協議会とも協働し、未来の作業療法士を育てる基盤づくりを目指します。

【倫理委員会】



▶委員長：永田作馬

▶活動内容：

倫理委員会と聞くと、臨床研究の審査機関というイメージを持たれるかもしれませんが。倫理委員会についてはまだ正式な規定はなく、どの範囲までの倫理案件を取り扱うか今後検討が必要な段階にあります。現在の役割としては、臨床場面や職場でのハラスメント事案の把握、予防の実践に重点を置き、日本作業療法士協会との連携強化を進めています。

会員皆様が仕事上で不利益を受けないように、また、受けたときに適切に対応していく事が当委員会の役割です。近年は特に職場内のハラスメントが増加しています。どのような言動がハラスメントに該当するのか、当事者自身が分からない事があります。その時の状況や関係性でお互いの受け取り方が変わるので、自分では気付かないうちに相手を傷つけている事があります。常に自分自身の言動がハラスメント行為に該当していないかを見直す習慣が必要です。そして、ハラスメントを見聞きした時の報告先や加害者への対応について事前に共有しておく事が重要です。

大阪府作業療法士会においては 2024 年度から顧問弁護士が設置され、倫理委員会としても気軽に相談できる弁護士さんの存在は非常に心強いものです。今後も「会員を守る」為に倫理委員会の活動を続けていきます。

【規約委員会】



- ▶委員長：梅田錬
- ▶委員：上村尚生、亀井大作、島宏和、田淵成臣、徳永修宗
- ▶活動内容：

規約委員会は、大阪府作業療法士会の「ルールブック」をつくり、育てる委員会です。活動は年に4～5回ほどで、府士会事務所にて約1時間の会議をしております。定款や定款施行規則といった規約は、府士会が公平で安心して活動できるようにするための大切な土台。私たちは、その土台を時代や現場の変化に合わせて見直し、より使いやすく、より納得感のあるものにしていく役割を担っています。

主な活動内容は

- ・規約の作成・改定
府士会の発展や社会の変化に合わせて、規約を見直し、新たなルールづくりにも取り組みます。
- ・規約の解釈・整理
「これはどういう意味？」という疑問に対し、委員会内で丁寧に議論し、共通理解をつくります。
- ・現場の声を規約に反映
運営や会員からの意見・要望を大切に、「現場で使える規約」を目指します。

規約委員会は、法律や規則に詳しくないと難しい…という委員会ではありません。「組織をより良くしたい」「裏方として支える仕事に興味がある」「物事を整理して考えるのが好き」そんな思いがあれば、きっと力を発揮できます。規約は単なる決まりごとではなく、府士会の理念や想いを形にしたもの。私たちは規約を通して、会員一人ひとりが安心して主体的に活動できる環境づくりに貢献したいと考えています。少しでも興味を持っていただけた方は、ぜひお気軽にお声がけください。皆さんと一緒に、これからの大阪府作業療法士会を支えていきたいです。

【表彰委員会】



- ▶委員長：関本充史
- ▶委員：長辻永喜、上田任克
- ▶活動内容：

表彰委員会は、本会の発展に寄与された会員ならびに関係者の功績を顕彰し、その歩みを後世に伝えることを目的として活動してまいりました。作業療法の臨床、教育、研究、地域活動など、さまざまな分野において専門性を育み、道を切り拓いてこられた先輩方に敬意を表するとともに、その功績を通して作業療法士の社会的理解と地位向上、さらには職能の普及に寄与することを大切にしています。

本委員会では、当会における表彰に加え、厚生労働大臣表彰や叙勲などの外部表彰についても対象者の推薦や内容の吟味を行い、公正かつ慎重な審議を重ねてきました。これらの活動は、作業療法士の実践や社会的貢献が広く認知される機会を支えるものです。

また近年は、これまでの功績を称えるだけでなく、創意工夫をもって現場や地域で活躍する若い世代の取り組みにも目を向け、讃え、次代へとつなげていくことの重要性を感じています。40周年という節目にあたり、先人の歩みと新たな挑戦の双方を大切にしながら、今後も表彰委員会は本会および作業療法のさらなる発展に寄与できるよう活動を継続してまいります。

【臨床実習指導者講習会委員会】



- ▶委員長：松下太
- ▶委員：井口知也、市村公、瓜野孝博、木瀬憲司、木村基、田中歩、田丸佳希、塚越千尋、林亜遊、林辰博、備前宏紀、真下いずみ
- ▶活動内容：

この度、一般社団法人大阪府作業療法士会が40周年を迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。この40年間、作業療法を取り巻く環境は大きく変容してきました。養成校教育においても、指定規則の改訂を重ねながら、時代の要請に応じたカリキュラムの更新が図られてきました。その一方で、長らく大きく変わらなかったものがあります。それが臨床実習です。実習時間の増減はあったものの、その中身は40年間ほぼ変わらず継承されてきました。しかし、2018年の指定規則の改正により、臨床実習は大きな転換点を迎えました。90年代後半より一部の臨床家や研究者が提唱してきた「診療参加型臨床実習」が正式にモデルとして位置づけられ、真の臨床教育への一歩が踏み出されたのです。本会では2019年度より臨床実習指導者講習会を開催し、これまで延べ1,600名余りの作業療法士に受講いただきました。現在は、年1回の開催を企画・運営しています。臨床実習の指導は、単に学生の学力や能力を試して可否を判断したり、レポートを書かせることが目的でもなく、未熟な学生の知識や能力を引き出し育てていく教育そのものであり、自分たち専門職の後輩育成でもあり、業界の未来を育む営みなのです。一人ひとりの臨床家の手によって育てられた作業療法士が、次の40年を支えています。その意識を共有し、共に作業療法業界の醸成に取り組んでいけることを願っています。

【就労支援委員会】



- ▶委員長：寺村肇
- ▶委員：板谷優志、井谷歩、市田薫、加藤拓也、金川善衛、木寺真菜、武平孝子、塚本賢司、辻薫、辻寛之、永田作馬、芳賀大輔、堀本拓究、本多伸行、吉田篤史
- ▶活動内容：

大阪府作業療法士会設立40周年、おめでとうございます。ここに至る諸先輩たちの取組みに感謝を申し上げますと共に、後進により良く受け継ぐ努力をお約束したいと思います。

当委員会は2021年度の発足以来、一貫して「作業療法 × 就労支援」の健全性の増強と危険性の排除という2つのテーマに挑んできました。

その背景には、医学モデルに傾倒した日本の作業療法において、雇用就労という現実的かつ具体的なテーマに取り組む就労支援は、本来の作業療法の在り方にもつながる健全な取組みだという共通認識があります。しかし、大阪の多くの作業療法士は、「就労支援は、作業療法とはまた別の何かだ。」との認識にあり、沢山の就労ニーズを抱えた作業療法の対象者に対して、或いは、大阪の作業療法の展望に対しても、不利益を与える危険性をはらんでいます。

そこで、当委員会では「大阪の作業療法士はどうやら全員、就労支援を語るらしい」という、ややフワッとした全方位的なスローガンを掲げ、分野横断的に5つのプロジェクトを展開しています。その中核概念として、「子供からお年寄りまで、全ての人は何らかの役割や仕事に従事する(=Occupation)とした、作業療法的就労支援」という視点を「はたらく」という言葉に置き換え、これを普及啓発しています。

この取組みは、まだまだ道半ばではありますが、委員一同、高いモチベーションで推進してまいりますので、引き続きご支援をお願いいたします。



【ICT 活用支援推進委員会】



- ▶委員長：河津聡
- ▶委員：岩倉慶和、大石和磨、大野海、大日方僚、岡島聡、勝原勇希、加藤拓也、黒澤淳二、後藤昌寛、田丸佳希、寺本光祐、中島千晶、西埜和希、原真也、松田大輔、山本柚葉
- ▶活動内容：

2023 年度より活動を開始した ICT 活用支援推進委員会は、頸髄損傷により四肢の自由を失いながらも、ICT を活用して一人生活を実現し、作業療法士として復帰した黒澤氏の実践に端を発しています。ICT が対象者の「できない」を「できる」に変え、その人らしい生活を再構築する力を持つことを多くの会員や府民に伝えたいという思いが、委員会設立の原動力となりました。発足 3 年目を迎えバリアフリー展や関西キッズ機器展への出展、研修会の開催を通じて活動は着実に広がり、他団体との連携も深まっています。現在は 17 名の委員体制となり、今後も ICT と生活をつなぐ新たな作業療法の可能性を大阪から発信していきます。



【運転と作業療法委員会】



- ▶委員長：牟田博行
- ▶委員：宇埜将平、奥野静華、上田剛裕、高岡夏実、田中詩織、常深志子、寺岡優希、中岡真弘、永田作馬、林有美、松下真拡
- ▶活動内容：

運転と作業療法委員会は、脳に損傷を受けた方の自動車運転再開を支援することを目的に、2018 年に単年度事業として発足しました。翌 2019 年から 2020 年にかけては複数年事業として、府民向けガイドブックの作成と普及に取り組み、2020 年にはガイドブックの修正・Ver3 の作成、ホームページでの公開、さらに府士会員向け研修会や会員向けガイドブックの作成など、支援体制の基盤整備を進めました。

2021 年以降は、会員の自動車運転支援技術の向上を目的とした啓発活動を継続し、関係機関との連携強化にも力を入れてきました。これにより、府内での運転支援に関する相談体制や評価・助言の質向上に寄与しています。

2025 年も引き続き、会員が十分な評価と情報提供を行えるよう教育的活動を拡大し、ネットワーク構築を進めていきます。また、免許返納者や高齢者の地域での移手段の確保についても検討を深め、より広い視点での移動支援に取り組みます。

さらに、近畿作業療法士連絡協議会の自動車運転支援ネットワーク事業では、近畿 2 府 4 県の委員会と協力し、広域的な支援体制の整備を進めています。2025 年末には、自動車運転に限らず地域での移動支援全般を啓発するため、府民および会員向けの冊子作成にも着手しています。

今後も、地域の高齢者を含む多様な人々の移動の課題に応えられるよう、作業療法士としての専門性を活かした取り組みを継続してまいります。

【福祉用具委員会】



- ▶委員長：内田嘉央理
- ▶委員：岡本宗、小野稿樹、下西徳、辻村肇、富田真平、芳賀翔一、畑中匡、林辰博、溝口聡

▶活動内容：

福祉用具委員会は、現在 10 名の委員にて活動しております。活動内容は「作業療法士の福祉用具・自助具の広報」を軸とし、それに関する日本作業療法士協会からの委託事業(福祉用具相談支援システム、生活行為工夫情報事業)、東大阪市からの委託事業介護給付適正化事業「介護保険福祉用具貸与(購入)、住宅改修調査業務」の委託事業を運営しております。特に日本作業療法士協会委託事業における広報もかね、ここ数年は大阪府作業療法学会にて「福祉用具こんなんでいいですかグランプリ」を開催させていただいていました。コロナ禍にて当委員会をはじめとする福祉用具の対面研修会も少なくなりました。が、心機一転、来年度からは対面研修会も視野に入れ、「環境を考える作業療法士の福祉用具・自助具」を知っていただける活動を継続したいと思っています。



【大阪・関西万博担当委員会】



- ▶委員長：牟田博行
 - ▶委員：荒木雅子、白江政樹、園山真弓、田中歩、中川英俊、中西一、松原良憲
- ### ▶活動内容：

2025 年日本国際博覧会 (Expo 2025 Osaka, Kansai, Japan / 大阪・関西万博) において、本会は協賛団体として 184 日間すべてに救護サポーターを派遣する体制を整えました。本委員会は 2024～2025 年度の特設委員会として発足し、日本国際博覧会協会からの協力依頼を受け準備を進め委員 8 名が役割を分担し、短期間で体制を構築しました。

当初は会場整備や救護体制の詳細が見えにくく、限られた情報の中で必要な準備を進める場面も多くありました。派遣事業は会費を原資として総会で承認され、交通費等の補助がない中での運営のため会員の理解と協力が不可欠であったことから、府士会ニュースや公式 LINE、学会ブースで募集を行いました。

救護サポーターの安心のため、マニュアル・説明動画の作成、会場研修、保険契約、ユニフォームや AD 証の準備を並行して実施しました。開幕後は出務会員の意見を公式 LINE や Web 説明会で共有し、運営改善を継続しました。

今後の大規模イベント支援に活かされることを期待します。



【教育部】＜身体領域チーム＞



▶代 表：内園直人

▶部 員：入江泰司、大石和磨、大西慶彦、片岡秀樹、門川泰輔、上田剛裕、熊野宏治、児嶋洋昭、
篠浦泰幾、武田優、椿野颯汰、西出義明、牟田博行

▶活動内容：

私たち身体領域チームは、会員の生涯学習とスキルアップを支援するため、質の高い研修会の企画・運営を担っています。研修会の企画は開催半年前から開始し、運動器・脳神経・内部障害・作業など各領域を網羅しつつ、会員ニーズのアンケートや最新動向を反映したテーマ設定により、他では得られない学びの機会を創出しています。また、学会認定資格のポイント対象研修を継続的に開催し、会員のキャリア形成を支援しています。

講師には全国学会での講演や書籍執筆経験を有する専門家を招き、確かな知識と技術を学べるプログラムを提供するとともに、若手会員の成長を後押しする研修にも力を入れています。コロナ禍を契機に Web 開催へ移行し、現在は Web と対面実技の利点を活かしたハイブリッド運営を確立しました。今後も参加者からの声を励みに、会員の継続的成長に貢献してまいります。



【教育部】＜発達領域チーム＞



▶代 表：長尾将利

▶部 員：木瀬憲司、作本咲菜、佐藤隆之介、周藤真実、多田澄、立石喬之、友田直哉、橋本佳奈、本多梓、
三浦正樹、村上祐輝

▶活動内容：

教育部発達領域チームの代表をしております藍野大学の長尾将利です。前任の木村先生より昨年より引継ぎ、代表をして 2 年となります。発達領域チームは 3 年目～20 年目までの幅広い年代に加え、病院、療育施設、行政、大学と様々な分野で活躍しているセラピストが在籍しています。各メンバーの思い、人脈を生かした研修の企画が強みと考えています。

発達領域チームでは年 3 回のオンライン研修、実技研修、PTOTST 合同の対面の研修会を行っています。オンライン研修では発達領域のトピックス、疾患の最新知見等、若手中堅問わず学べるよう企画をしています。今年度は、コロナ禍では難しかったハンドリング研修を対面で実施しました。病院、施設問わず参加者が多く、講師の先生の熱量が参加者へ伝わる研修となりました。

研修を通し、発達領域で働くセラピストの方々の学びの場、交流の場となれるようこれからも企画、運営していきたいと考えております。

【教育部】＜老年期領域チーム＞



▶代 表：宮本年也

▶部 員：猪又直子、畝森遥菜、岸真一郎、楠見明彦、田中朝子、田中歩、中西遥、中野正俊、村田菜々子

▶活動内容：

大阪府作業療法士会教育部老年期チームは、老年期に関する研修の企画・立案を中心に活動し、府士会員に最新の知識と実践を届けている。活動は「認知症に関する最新知識のアップデート」と「老年期領域における実践的支援の学び」の二本柱で構成され、現場で求められる知識やヒントを提供している。チームは10名の部員で構成され、認知症推進チームや精神領域チームと連携を模索し、年2～3回の研修会を企画・運営するほか、年間8回程度の部門会議を通じて方向性を検討している。会議では親しみやすい雰囲気の中で意見が活発に交わされ、新たな企画や改善点が生まれている。

近年の実績として、2025年にはパーキンソン病や認知症の方を対象としたニューロダンス研修を開催。2024年には「認知症と脳画像」「認知症初期集中支援」をテーマに、地域での生活支援やコーディネートのポイントを学ぶ機会を提供した。2023年には外出支援に向けた住宅改修や福祉機器の選定、認知症の人に対する作業療法士の役割に関する研修を実施するとともに、地域の薬剤師を招聘して薬剤知識に関する研修を行った。

今後は他分野のチームや委員会とも連携し、共通する課題を整理しながら深みのある研修を共同で企画・運営していきたい。

【教育部】＜精神領域チーム＞



▶代 表：小川泰弘

▶部 員：大屋拓、沖井健太、川西陽之、坂口隼、角野美喜、田中奨太、
永井愛夏、中村理沙、二井愛子、西田都香沙、橋本弘子、
真下いずみ、山崎誠也、矢守光里

▶活動内容：

教育部・精神領域チームでは、精神科作業療法の実践拡大に伴い、近年、領域別ワーキンググループを設け、現場で「今必要な学び」を反映した研修会を開催してきました。院内OTやデイケアに加え、就労支援、精神科訪問看護、CCS型実習などテーマは多様化し、研修会は年間6回のペースで継続しています。

参加者は多い回で50名を超え、他府県からの参加も増えています。現在は対面研修も再開し、講義に加えてグループワークや意見交換を行い、会員同士がつながる場づくりを大切にしています。若手への世代交代も進み、経験者の後方支援により安定した運営が実現しています。今後も会員の声を起点に、実践に役立つ学びを提供し、精神領域作業療法の質向上と府内外のつながりづくりに貢献していきます。



【教育部】<新人教育チーム>



▶代表：福井幸恵

▶部員：大野尚史、大野力、川上永子、川崎和宏、岸村厚志、嶋野広一、白井雅子、杉原勝美、中村恍貴、藤原光樹、宮嶋愛弓、横山めぐみ

▶活動内容：

教育部新人教育チームについてご紹介いたします。

新人教育チーム（以下、チーム）は、日本作業療法士協会の生涯教育制度について協力し、現職者研修の運営を行っています。作業療法士としてのキャリアの第一歩はこの制度から、と言っても過言ではありません。（大袈裟です）そして、研修会の運営を通して府士会会員の皆様がキャリアを進めていかれるお手伝いができることは我々チームメンバーにとって望外の喜び（またまた大袈裟…胡散臭さ満載）です。

現行の「生涯教育制度」は、2026年度を以て終了し生涯学修制度へと移行いたします。

作業療法士の専門性を担保していく上で大変重要なことだと思いますが、その進め方については、いろいろとわかりにくいことも多く、これからも見直し・改定を重ねていくと思われま。チーム全員で、「生涯学修制度」についての理解を深め、この制度を利用される皆様のお役に立てるように頑張っていきたいと思っております。

【教育部】<生活行為向上マネジメントチーム>

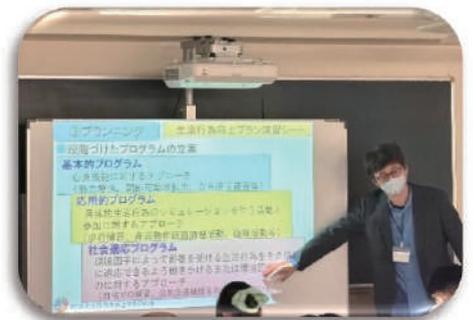


▶代表：中村元紀

▶部員：改發友貴、木瀬憲司、関本充史、下川貴大、中村まい香、濱田実瑠、林辰博、林田啓史、平山公章、前田太輝、松田大輔、出口恵

▶活動内容：

大阪府作業療法士会・学術部・MTDLP推進チームでは、生活行為向上マネジメント（MTDLP）の普及と質の向上を目的に、年間を通じた研修事業を実施しています。基礎研修を年3回、事例検討会を年2回開催し、13名のチーム員が中心となって運営しています。MTDLPは、作業療法の専門性をわかりやすく“見える化”し、利用者の「大切な作業」へと視点を導く実践的ツールです。作業分析や本質的課題の整理を体系的に行えることから、多職種連携の促進、学生指導、申し送りなど幅広い臨床場面での活用が期待されています。また、登録作業療法士制度の必須研修であり、実習指導者にも理解が求められる重要な基盤ツールです。作業療法士の共通言語として活用することで、専門性を社会に示しつつ、利用者一人ひとりが自分の中にすでに存在する「大切な作業」や「望む生活」に気づき、それに向かって歩んでいけるような支援につながります。今後も MTDLP の普及と活用促進を通じ、作業療法の価値を社会に発信していきます。

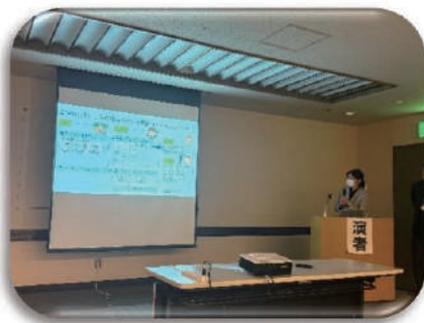


【学術部】＜研究会＞



- ▶部長：上田将也
- ▶部員：井口知也、大類淳矢、生水智子、亀田あゆみ、立山清美、中岡真弘、長尾将利、備前宏紀
- ▶活動内容：

「研究」は関心があっても、指導者がいなければ形にすることが難しいのが現状です。そこで学術部では、臨床に根ざした学びと研究を支えるため、さまざまな活動を行っています。主な取り組みとして、臨床疑問を解決する府士会指定研究の支援、初学者向け研究法講座や各種研究研修会の運営、大阪モデルの作業療法連携ツール「SOHO」の普及を進めています。指定研究では、ダウン症児・者の支援ニーズに関する研究を推進するとともに、新たな研究課題を募集し、地域に即した知見の蓄積に努めています。



「SOHO」については伝達講習を実施し、現場で活用しやすい形で情報提供を行っています。また、オンラインによる研究法講座では、入門レクチャーと領域別相談会を通じ、研究を始めたい会員を継続的に支援しています。これらの活動は学術部運営会議で検討し、会員へ還元できる体制を整えています。本会に臨床研究を支援する部があることをご理解いただければ幸いです。

【学術部】＜三士会合同研修＞



- ▶部長：神尾昭宏
- ▶部員：井口知也、上田将也
- ▶活動内容：

学術局では主に大阪府理学療法士会生涯学習教育センター、大阪府言語聴覚士会と協力しながら3士会合同研修会を企画・運営しています。また、2025年度より開始された日本作業療法士協会が推進している「新生涯学修制度」について、皆様の理解を深めながら登録・認定・専門作業療法士の資格取得をサポート出来るような説明会を随時開催しています。今後も作業療法士の学術的な発展に尽力しつつ、大阪府民の皆様の健康と幸福に資する職能団体として広く認知して頂けるように活動していきたいと考えています。



【学術部】＜機関誌編集室＞



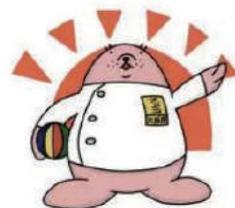
▶部 長：中西一

▶部 員：井口知也、加藤敏一、兼松大輔、古原将馬、田中希枝、
塚越千尋、中村愛子、中村孝志、野口裕美、橋本晋吾、
橋本弘子、福井篤志

▶活動内容：

大阪作業療法ジャーナルは、今から 38 年前の 1987 年 3 月に第 1 巻第 1 号が発刊されました。創刊当初の編集部は長辻永喜先生、中村春基先生、上田任克先生の 3 名で構成され、編集後記には、原稿依頼や予算面の制約から年 1 号の発刊が限界であったこと、また大阪府学会との合併号がいくつか存在するなど、試行錯誤を重ねながら雑誌を育ててこられた歩みがうかがえます。その後体制拡充し、誌名も「大阪作業療法ジャーナル」へと改称しました。2000 年には ISSN 番号を取得し、2011 年からは電子ジャーナルの発刊も開始しました。現在の編集部は 13 名体制となり、内数名は長年携わってくださっており、これまでに編集部として本誌に関わってくださった先生方は 50 名を超えています。本誌では現在、投稿論文に加え、編集部でテーマを選定・企画する特集など、多様な企画を掲載しています。

近年、編集会議や編集作業はオンライン化が進む中、機関誌が 40 年近く継続してきたことの意味と重要性を改めて考えつつ、今後も本誌が大阪の作業療法をつなぎ、記録し、発信する場であり続けられるよう、引き続き号を重ねていきたいと考えています。



【広報部】



- ▶部長：横井翼
- ▶部員：稲本弥佐、園山真弓、夏山真一、南沢摩、峰村幸宏
- ▶活動内容：

広報部は、現在6名で活動中です。幅広い年代の方が在籍しており、会議ではついつい話が脱線してしまう程おしゃべり好きな仲よし部局です。広報部の主な活動内容は、①府士会ニュースの発行(年4回)、②ホームページの運営管理、③パンフレットの作成配布、④公式LINEの発信です。①府士会ニュースの発行に関しては、発行月の約3か月前にニュースの内容を検討する「企画会議」を実施し、各部局へ記事作成の依頼を行っています。発行月の約2か月前には、ニュース記事の確認や記事の順番などを割り振る「編集会議」を行っています。その後印刷業者へ記事を入稿し、ニュースの下地が出来上がり、さらにそこから1次2次と校正を重ね、発行となります。②ホームページの運営管理に関しては、レイアウトの検討や研修会情報、求人情報の更新などを府士会事務員さんと協力して行っています。③パンフレットの作成配布に関しては、パンフレットの更新、新入会案内広告の作成配布などを行っています。④公式LINEに関しては、もっとお手軽に研修会情報にアクセス出来ないかということで、立ち上がった比較的新しい事業です。月に数回、研修会情報と府学会の情報を発信しています。登録者数1000名を目指していますので、まだ登録されていない方はぜひ登録してください。

【作業療法推進部】



- ▶部長：松島佳苗
- ▶部員：荒木雅子、稲本ゆか、上野慶太、川村明代、武本幸子、田中若菜、中島るみ、中村愛子、南條拓也、花田恵介、松元一世、柳迫哲也

- ▶活動内容：

作業療法推進部では、大阪府民の皆さまに作業療法を広く知っていただき、身近な医療専門職として社会で役割を果たせるよう、継続的に活動しています。主な取り組みは、小・中学生を対象とした職業講話、動画作成やSNSでの情報発信、バリアフリー展などでのセミナー開催です。現在13名の部員が所属し、職場や領域を越えて協



力しながら認知度向上に努めています。また、単発イベントへの協力など、サポーターも随時募集しています。40周年を迎えた大阪府作業療法士会が、今後も府民の心身の健康に貢献できるよう、社会に向けた発信を続けてまいります。



【地域推進部】<地域包括ケアチーム>



▶代表：紀皓大

▶部員：浅田健吾、小野稿樹、片岡亜衣、下川貴大、
白江政紀、園山真弓、節安政希、田中歩、
檀信一朗、中野正俊、中村洗貴、
日野上貴也、細本愛子、宮木しげ美、
山本卓也、山本祐平、吉田晃子



▶活動内容：

大阪府作業療法士会地域包括ケアチームは2015年の発足以来、府民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる社会の実現を目指し、地域における医療・介護・福祉の連携推進に取り組んできました。大阪府内各ブロックのメンバーで構成され、2か月に1度の会議を通じて、市町村の事業内容や地域課題、研修情報を共有し、各地域の実情に即した取り組みを検討・実践しています。

これまで高齢者支援を担う人材育成に注力し、府士会員を対象とした基礎研修・アドバンス研修に加え

大阪府理学療法士会および大阪府言語聴覚士会と連携した地域ケア会議推進リーダー研修、介護予防推進リーダー研修を実施してきました。また、市町村事業を支える人材確保の一環として、生活課題アセスメント訪問指導者講習会への人選にも取り組んでいます。今後も作業療法士の専門性を生かし、地域包括ケアのさらなる推進に貢献してまいります。



【地域推進部】<認知症支援推進チーム>



▶代表：松本祥平

▶部員：永江真吾、大前将暉、尾関英明、角野美喜、芹野惇弘、出口恵、野崎健、保田憲吾、柳沢崇、
渡邊安澄

▶活動内容：

認知症支援推進チームは、作業療法士が地域の認知症支援に主体的に関わることを目的に活動しています。前身の特設委員会は、国の認知症施策に位置づけられた認知症初期集中支援チームへのOT参画の必要性を背景に発足し、研修会の開催や役割整理に取り組んできました。2022年度からは常設委員会として再編され、認知症初期集中支援チームに限らず、地域全体の認知症支援事業への関与を進めています。

主な活動として、2014年以降、認知症の基礎から実践までを学べる研修会を継続開催し、近年は地域支援への具体的な関わり方を学ぶ内容へと発展させています。また、府内におけるOTの認知症支援活動を把握・共有するための情報共有シートを作成し、実態調査を実施しました。さらに「認知症の人と家族の会」と連携し、当事者や家族の声を踏まえた支援の検討を行っています。今後も地域啓発や連携を通じ、安心して暮らせる地域づくりに貢献していきます。



【地域推進部】<こども発達サポートチーム>



▶代表：田中裕二

▶部員：赤澤育実、植西祐樹、勝原勇希、加藤麻美、小林真由香、丹葉寛之、中村愛子、中川瑛三、西口あずさ、前田亮輔、山中優、山田直満、尾藤祥子

▶活動内容：

こども発達サポートチームは、2007年の特別支援教育開始以降に培われてきた学校支援の実践を基盤に、幼児期から青年期まで幅広い発達支援への対応を目的として、2024年度に発足した。本チームは「学校作業療法の推進」「イベント活動による作業療法の広報」「人材育成」の三本柱を軸に活動している。

学校作業療法の推進では、豊中市教育委員会事業として市内小学校1年生全学級を対象に教室環境の観察評価と助言を実施した。個別支援にとどまらず、物理的・人的環境への助言を通じて学級全体の落ち着きや学習環境の改善が確認され、教員からも高い評価を得た。

広報活動では、北区民カーニバルに参加し、OT認知度調査を実施した。結果から、作業療法やこども・学校領域でのOTの役割について十分に知られていない現状が明らかとなり、継続的な啓発の必要性を再認識した。

人材育成においては、異なる領域で経験を積んだOTが学校訪問に同行するOJTを行い、環境を包括的に捉えるOTの視点を共有することで、ジェネラリスト育成の有効性を確認した。

今後もチームは、学校・地域・イベントを通じてOTの専門性を社会に届け、こどもが安心して学び生活できる環境づくりに貢献していく。

【ブロック推進部】<大阪市北ブロック>



▶代表：荒木雅子

▶委員：今井美早、内田嘉央里、下川貴大、瀬尾諒、寺村肇、長倉侑祐、畠朋成、藤本唯恋、細本愛子、松本吉史、山元昭彦、吉田はる香

▶活動内容：

私たち大阪市北ブロック（通称NOB）は、大規模病院や施設、養成校が多く、作業療法士の在籍数が多い地域です。一方で、施設内で情報共有が完結しやすく、新しいブロック員と出合いにくい課題もあります。今期2年の目標を

①委員交代後も継続できる体制づくり、②NOBつながりLINEのメンバー増加とし、役割の明確化やネットワーク拡大に取り組んでいます。北区民カーニバルへの出展や「ちょこ勉」では珍しいテーマも混ぜた勉強会、事例検討会・研修会を開催し、高い満足度を得ています。子育て世代も参加しやすい企画や、1月には当事者の方と一緒に「パーキンソン病カルタ」のお披露目会も予定しています。次年度も気軽に参加できる場を通じ、まだ出会っていないブロック内の作業療法士の皆さんと新たなつながりを広げていきたいと考えています。



【ブロック推進部】<大阪市南ブロック>



▶代表：片岡亜衣

▶委員：岩倉慶和、尾関英明、紀皓大、田中歩、中村まい香、芳賀翔一、日野裕斗、堀本拓究、松原良憲、米持喬

▶活動内容：

大阪市南ブロックでは、委員同士が協力し合い、世代や立場を越えて関わりやすい、居心地の良い雰囲気の中で活動しています。企画や運営は自然な役割分担で進められ、事例報告検討会は対面開催とし、つながりを大切にしています。若手・中堅作業療法士向けの交流・研修会では、「楽しかった」「また参加したい」との声が多く、ブロック員一人ひとりが大きな財産であると実感しています。研修会は領域を限定せず、作業療法に共通する視点を学ぶ内容とし、分野の違いから新たな気づきを得る機会となっています。今後は若手運営スタッフの参画を促し、幅広い世代がともに成長できるブロックを目指します。



【ブロック推進部】<三島ブロック>



▶代表：中野皓介

▶委員：井谷賢、岩本美歩、宇埜将平、大田哲也、岡孝次、小野稿樹、小寺秀征、勝山結、角野美喜、後藤華、白石恵、須郷尋美、田中伸幸、檀信一郎、塚本賢司、中村ゆかり、林田啓史、松尾俊

▶活動内容：

大阪府作業療法士会、40周年おめでとうございます。三島ブロック代表として活動をさせていただいている私はブロック活動に入り、15年になります。恩師であります山下協子先生にお誘いいただき、参加したことがきっかけです。はじめは、先輩方の隅っこで活動をしていたのですが、時を経てブロック代表という役回りになり、若輩者ではありますがみなさんに支えられて活動をしております。

歴史から言うと三島ブロックでは、古くから地域連携を大切にしていた地区だったと聞いております。かつては、病院や施設対抗で患者さん、利用者さんを巻き込み風船バレーをアクティビティにみんなで交流する取り組みをされていました。

時代は変わり、当時ほどの活動は出来ていないかもしれませんが現在は府士会活動の一環としてブロックの会員さんが「やりたいこと」、「知りたいこと」に取り組めるブロックとしていきたいと考えております。今後とも三島ブロック活動ができるよう、みなさまのご協力とご支援をよろしくお願いいたします。



【ブロック推進部】<豊能ブロック>



▶代表：寺島正晃

▶委員：後迫春香、池本恭子、板谷優志、櫛邊康孝、黒木達成、
園山真弓、高山蒼、西井春菜、符田健一、横山由梨子

▶活動内容：

豊能圏域は大阪府北部に位置し、4市2町からなる人口100万人超の都市圏で、都市部と自然豊かな北摂山系が共存する地域です。地域医療支援病院や公的医療機関が多く、救急から入院治療まで地域内で完結できる体制が整っています。当ブロックには265名（2025年3月末現在）が所属し、11名で運営しています。「顔の見える関係性づくり」を目的に、若手OTを中心とした研修会や交流会、事例検討会を開催し、年5回程度の運営会議を行っています。近年は介護予防や学校教育分野で市町からの依頼も増加しており、職能団体の一組織として求められている役割を果たすためには会員同士が繋がるのが重要だと強く感じています。

新型コロナウイルス感染症の流行以降は人との関わり方も変化しましたが、関係性づくりができるよう活動していきますので、皆さまのご協力を宜しくお願いします。



【ブロック推進部】<堺ブロック>



▶代表：篠浦泰幾

▶委員：宇多久志、角貴史、金田真人、川村明代、米倉真菜、小間坂友祐、蔦本尚展、出口恵、富永洋紀、
畑中匡、節安政希、前田太輝、松元一世、松本茂樹

▶活動内容：

堺ブロックでは、「気楽に・楽しく・ゆるく」をモットーに、どなたでも参加しやすい活動を心がけています。委員それぞれが多様な人脈と専門性を有しており、堺ブロックならではの特色ある研修会を企画・開催してきました。

2025年12月現在、主にオンライン形式で5回の研修会・勉強会を実施しました。

- ・5月には若手OTを対象とした精神科作業療法の勉強会を開催し、先輩OTの症例報告から学ぶ機会を提供しました。
- ・7月はOTの視点を活かしたマネジメントをテーマに、臨床と運営の両面を考える研修を行いました。
- ・8月の事例報告・検討会では、複数領域の実践報告を通して活発な意見交換が行われ、34名が参加しました。
- ・10月には認定作業療法士取得を目指す研修を開催し、キャリア形成への関心の高さがうかがえました。
- ・12月には公認心理師を講師に迎え、回復期リハビリ病棟における心理職の役割と多職種連携について学びました。

今後も堺ブロックならではの強みを活かし、参加しやすく実践に役立つ研修会を継続していきたいと考えています。引き続き、堺ブロックの活動へのご理解とご参加をよろしくお願いたします。

【ブロック推進部】＜北河内ブロック＞



▶代表：中川英俊

▶委員：勝村智加、楠田昌弘、佐川雅俊、白江政紀、古山大雅、牟田博行、柳川明義、柳迫哲也、吉本幸恵

▶活動内容：

北河内ブロックは、守口市、枚方市、寝屋川市、大東市、門真市、四條畷市、交野市の7市で構成されている。本ブロックは10名の運営委員により運営され、地域に根ざした活動を継続して行っている。主な活動として、毎年4月に事例検討会を実施しており、年間10事例以上の応募があるなど、多くの会員が参加する活発な取り組みとなっている。また、新人から若手作業療法士を対象とした親睦会を開催し、臨床や職域を越えた交流の場を設けている。さらに、作業療法士としての学びの基礎となる内容をテーマとした研修会を企画し、参加者が関心を深め、次の学びへとつなげられる機会づくりを大切にしてきた。医療・介護・地域など多様な領域を対象とした研修を行うことで、幅広い視点から作業療法を学ぶ場を提供している。今後も北河内ブロックは、会員同士のつながりを大切にしなが、地域のニーズに応じた活動を継続していく。



【ブロック推進部】＜中河内ブロック＞



▶代表：山本祐平

▶委員：瓜野孝博、楠見明彦、白井理子、杉野彩実、鈴木俊宏、高島聡江、武平孝子、徳永好春、永江真吾、中村理沙、本多伸行、溝口聡、宮下遼雅、森田茜、森本理紗、山本達也、吉井恵一

▶活動内容：

中河内ブロックは、東大阪市・八尾市・柏原市の3市で構成され、2024年3月31日時点で151名の会員が所属しています。「中河内ブロックに在籍する作業療法士同士がつながること」を主軸に、地域特性を活かした多様な活動を展開しています。なかでも就労支援に力を入れており、「はたらく」をテーマにした「よろずや相談会」を年数回開催しています。本相談会では、多様な相談ニーズの共有、安心して語り合える環境づくり、情報提供や地域資源の紹介、会員同士のつながりの強化を目的としています。さらに、査読



システムを導入した事例検討会や若手向け研修会、LINEを活用した迅速な情報共有など、学びと交流を促進する取り組みも特徴です。急性期・回復期・生活期の身体領域をはじめ、精神・老年・発達領域、大学教員や就労支援分野で活動する作業療法士など、多様な視点を活かした運営体制が、ブロック活動の広がりや深まりを支えています。

【ブロック推進部】<南河内ブロック>



▶代表：藤原光樹

▶委員：安部峻也、飴野有起、岡島聡、岡本宗、小島久典、宮木しげ美、森貴大、吉田(千葉)晃子、米田穂

▶活動内容：



南河内ブロックは2025年7月現在、47の医療・介護施設、事業所、教育等で119名の作業療法士が活躍しています。ブロックの活動内容は親睦会を皮切りに年2回の研修会、事例検討・報告会を開催しております。親睦会は新たに加わった事業所に所属する作業療法士に参加していただき情報交換を行っています。また研修会においてはコロナ禍の影響で希薄となっている「ヨコの繋がり」に対し、今年度より

ZOOM開催から対面開催を重視する運営に変更し、少しずつではありますが「繋がり」が広がってきています。写真は今年度開催されました親睦会と研修会の集合写真です。今後も府士会地域局をはじめ他の部局とも連携しながら積極的なブロック活動が行えるように進めていきたいと考えています。ご指導の程よろしく願いいたします。

ZOOM開催から対面開催を重視する運営に変更し、少しずつではありますが「繋がり」が広がってきています。写真は今年度開催されました親睦会と研修会の集合写真です。今後も府士会地域局をはじめ他の部局とも連携しながら積極的なブロック活動が行えるように進めていきたいと考えています。ご指導の程よろしく願いいたします。



【ブロック推進部】<泉州ブロック>



▶代表：竹林弘平

▶委員：奥森篤志、垣尾あゆみ、黒田美咲希、助川利恵、田中一生、田端周允、西田幸司、巻木美桜、増田友美、松尾浩樹、松田麻里奈、山本了平、山中利恵、吉田篤史

▶活動内容：

泉州ブロックはブロック創立の当初から言われていた「横のつながり」を代々ブロック長から受け継いできました。それは府士会創立30周年からの10年でも同様で、中川ブロック長、佐川ブロック長、奥森ブロック長と受け継ぎ、現在もその信念のもと活動しています。この10年で泉州ブロックは円滑な運営、役割分担を目的に「学術部」「広報部」「事務運営部」「地域活動支援推進部」と各部に分かれて活動しています。特徴的な活動としては10年以上前から脳卒中当事者の会を「地域活動支援推進部」として運営しており、茶話会、ボーリング、たこ焼き作り、買い物、バーベキュー、ピクニック、料理教室など対象や目的に合わせて開催しています。今年度より、新たな試みとして「泉州ブロックのすべての施設で自動車支援が可能になるように」を目標に「はんどる握り隊」という自動車運転支援チームを結成しました。結成初年度の今年は岸和田自動車教習所の指導員の方をお呼びして研修会を開催し、他職種からの参加もあり参加者50人と大変な反響と自動車運転の関心が高いことを改めて実感しました。他にも大阪河崎リハビリテーション大学と連携し実習前セミナーを実施、学生の皆様にも府士会活動を知っていただく機会を設けるなどの活動も行っています。

今後も50周年に向けて先輩方から引き継いだ「横のつながり」をモットーに熱く、泉州ブロック、大阪府作業療法士会を盛り上げていきます！

【福利厚生部】



- ▶部長：万澤大輔
- ▶部員：赤坂由紀子、土井ひかり、花田恵介、松尾浩樹、山口真衣
- ▶活動内容：

福利厚生部の主な活動は、サークル活動・新人 OT お祝いの会・新年互礼会等です。いかに府士会での活動が府士会員にとって、長く心地の良い環境になるか日々思案しながら活動に取り組んでいます。多くの人々にとって良質なサポートができるよう、府士会員同士の交流を促し心身ともに充実ができる環境を提供できるよう活動いたします。



【財務部】



- ▶部長：吉川礎弘
- ▶部員：角倉稔基、廣田隆、松本茂樹
- ▶活動内容：

財務部は、府士会の「お金の流れ」を管理し、健全で安定した組織運営を支える役割を担っています。部員4名で、決算作業や会計監査、会計報告説明会などを行い、年6回程度、主に府士会事務所で部会を開催しています。業務内容は、予算作成、年会費・入会金の管理、各部・委員会・ブロックの予算執行や会計処理の確認、決算書作成や会計士・監査対応など多岐にわたり、事務員さんにご協力を頂ながら、会員が安心して活動できる環境作りに取り組んでいます。また、部会後の懇親や年1回の交流会を通じ、円滑な連携も大切にしています。「財務部ってなんか地味で、大変そう・・・」といったイメージがあるかも知れませんが、府士会の方針決定に寄与できる貴重な部の1つであり、活動は組織全体を俯瞰でき、府士会の方針決定にも関われる魅力ある部です。「組織を知るなら財務から」と思われた方（過去にこう言って入部した某現担当理事がおりました）数字や管理が得意な方、視野を広げたい方など、ぜひ事務局までご連絡ください。今後も縁の下から府士会を支えてまいります。



【事業部】



- ▶部長：大石和也
- ▶部員：関本充史、園山真弓、田中歩、長井麻都華
- ▶活動内容：

事業部は、大阪府および府内市町村から寄せられる委託事業や地域支援事業の相談窓口として、作業療法士の専門性が地域で最大限発揮される環境づくりを担っています。現在は、介護予防事業、生活課題アセスメント訪問指導者養成スクール、福祉用具・住宅改修調査、短期集中予防サービス、認知症予防教室など、多岐にわたる委託事業を受託し、それぞれが適切に運営されているかを継続的に確認しながら、活動の質向上と持続可能な体制づくりを進めています。

また、昨今は高齢者支援に加え、学校作業療法をはじめとする新たな領域からの相談も増加しており、職域拡大と会員支援の重要性がさらに高まっています。

40周年を迎える本年度。事業部は、これまで築いてきた地域との信頼を土台に、未来を見据えた新たな挑戦へと歩みを進めます。作業療法の可能性をさらに広げ、府士会の輝く発展に寄与してまいります。



【保険部】



- ▶部長：左川大樹
- ▶部員：稲本尊、岡島聡、小田裕治、岸川恵理子、橋本博史、平尾和久、深谷直輝、藤山紗都
- ▶活動内容：

保険部には現在9名が在籍し、研修会・情報交換会の開催、府士会ニュースへのコラム掲載による情報の発信を中心に活動しています。

最近では診療報酬・介護報酬の改正についての情報も手軽に入手できるようになりました。私たちが開催する研修会・情報交換会は、単に情報を提供するだけでなく、皆様が直面する業務の変化や悩み、その対策や解決策を共有していくことを目的としています。

保険・制度は重要であるにもかかわらず、なかなか目を向けにくい分野でもあり、自分が働く分野の制度は理解していても、他分野となると知らないことが多くあります。部会内で話し合い、意見交換をする中で、「同じ作業療法士やのに、働いているフィールドが違っていると、こんな基本的なことも知らんねんや」と再認識させられます。そうした談笑の中で生まれる疑問や気づきを、府士会ニュースで発信することで、保険・制度をより身近に感じてもらい、興味を持つきっかけとなればと考えています。

時代の変化とともに、作業療法士に期待される役割は多岐にわたります。大阪府作業療法士会は設立40周年を迎え、藤原会長を中心に組織力の向上が掲げられています。保険・制度への理解を深めることは、作業療法士に求められている役割を知り、専門職としての自信と誇りにつながると考えます。一人ひとりが作業療法士という職業に自信と誇りを持つことも、組織力の向上につながるという想いで活動を続けています。

【総務部】＜庶務チーム＞



▶代表：岩槻厚

▶部員：東恵利奈、船橋喜枝

▶活動内容：

事務局の皆さんと連携して府士会活動を円滑に行っていただくための活動を地道に行っています。主な業務は、総会運営、総会議案書の作成、事務所・府士会所有の備品管理、大阪作業療法ジャーナルの在庫管理、府士会作成パンフレットの在庫管理などです。また、内外公文書の作成・発送・把握、皆様からの入会・退会・転出・変更に関する処理にも関わっています。

【総務部】＜情報チーム＞



▶代表：小谷真以

▶部員：岸村厚志、中川英俊

▶活動内容：

情報チームでは、会員の方々へ研修会情報を「マメール」を使って配信しています。また、委員会の皆さまの業務がより便利で分かりやすくなるよう、kintoneを用いた仕組みづくりに新たに取り組んでいます。日々の情報共有や管理作業の負担軽減につながるよう整備を進めています。

【理事会】



▶会長：藤原太郎

▶副会長：田中歩（特設委員会・選挙管理委員会）、辻薫（常設委員会）

永田作馬（常設委員会・倫理委員会・表彰委員会）

▶局長：浅田健吾（地域局）、神尾昭宏（学術局）、中村愛子（社会局）、松下卓也（事務局・財務部）

▶理事：井口知也（学術部）、石丸大貴（保険部・地域推進部）、大石和也（ブロック推進部・事業部）

川村明代（ブロック推進部）、岸村厚志（総務部）、木瀬憲司（教育部）、

園山真弓（広報部・地域推進部）、田淵成臣（規約委員会・就労支援委員会）

田丸佳希（臨床実習指導者講習委員会・ICT活用支援推進委員会）、

花田恵介（福利厚生部・作業療法推進部）、林辰博（災害対策委員会・福祉用具委員会）、

牟田博行（企画委員会・運転と作業療法委員会・大阪関西万博担当委員会）

▶監事：関本充史、松下太

▶活動内容：

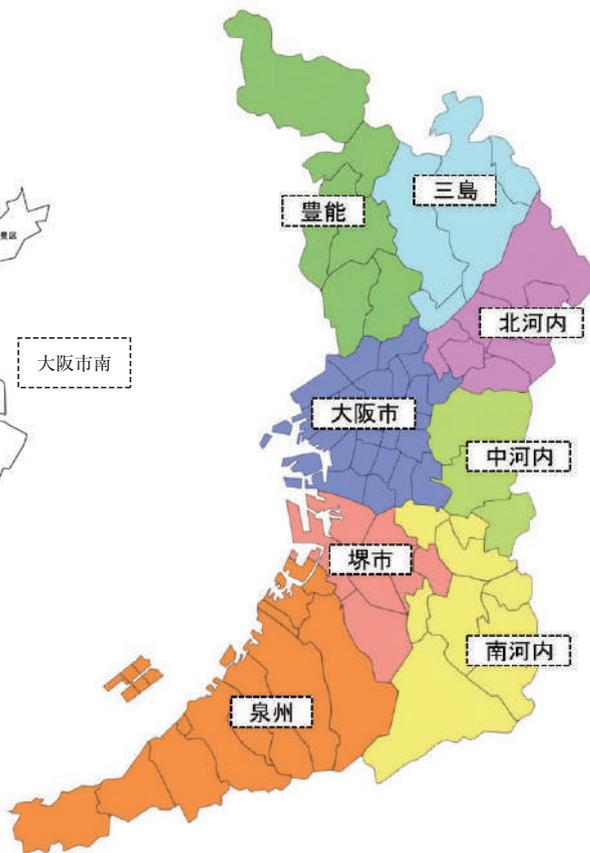
理事会は、月に1回ハイブリッドにて開催しています。府民の健康・医療・福祉の増進に作業療法士が応えられるよう、「会員の知識や技術の研鑽、質の向上などスキルアップ」「府民への作業療法の普及・啓発活動」「関連諸団体と連携・協業をはかり、会員が働きやすい環境整備、職域の確保」に取り組んでいます。それぞれの部局・委員会ごとに企画、予算立て、運営、実施し、全体を取りまとめています。

大阪府下ブロック

大阪市



堺市



三島ブロック

高槻市・摂津市・三島郡

豊能ブロック

池田市・吹田市・豊中市・箕面市・豊能郡

大阪市北ブロック

北区・都島区・旭区・此花区・福島区・港区・西区
西淀川区・淀川区・東淀川区・城東区・鶴見区・東成区

大阪市南ブロック

中央区・浪速区・大正区・住之江区・生野区・阿倍野区
西成区・天王寺区・平野区・住吉区・東住吉区

北河内ブロック

枚方市・寝屋川市・守口市・門真市・大東市・交野市
四条畷市

中河内ブロック

東大阪市・八尾市・柏原市

南河内ブロック

松原市・羽曳野市・藤井寺市・富田林市・河内長野市
大阪狭山市・河南町・太子町・千早赤阪村

堺ブロック

堺市

泉州ブロック

和泉市・泉大津市・高石市・忠岡町・岸和田市・貝塚市
泉佐野市・熊取町・泉南市・田尻町・阪南市・岬町

大阪府作業療法学会

回	テーマ	学会長	開催年	会場	参加者
第1回	Activityを考える	長辻 永喜	昭和60年	大阪市身体障害者 スポーツセンター	95名
第2回	Activityを考える～Part2～	中川 良裕	昭和61年	大阪市身体障害者 スポーツセンター	89名
第3回	Activityを考える ～Part3 Group exercise～	中江 ツユ子	昭和62年	大阪府立労働センター	72名
第4回	Activityを考える ～Part4 描く～	岡 正治	昭和63年	大阪府立労働センター	75名
第5回	Activity	上田 任克	平成元年	近畿リハビリテーション学院	123名
第6回	OTの役割	藤原 康治	平成2年	大阪府立労働センター	110名
第7回	OTは何を学ぶべきか	大西 和孝	平成3年	大阪府立労働センター	110名
第8回	多様性と専門性	福井 信佳	平成4年	大阪労災病院	101名
第9回	地域からの発信	古志 康則	平成5年	豊中市障害者福祉センター	60名
第10回	新人の登竜門として	姜 石川	平成6年	近畿リハビリテーション学院	103名
第11回	作業療法士間のネットワーク	茂原 直子	平成7年	社会福祉会館	120名
第12回	実習指導者としてのバージョンアップとは ～経験・変化・成長～	銀山 章代	平成8年	大阪市立総合医療センター さくらホール	81名
第13回	21世紀を創る ～時代のニーズに答えられるか～	井上 英治	平成9年	大阪市立総合医療センター さくらホール	122名
第14回	在宅支援に向け 今 OTに求められているもの	加藤 敏一	平成10年	大阪府立介護実習・普及 センター	110名
第15回	道を拓く	日垣 一男	平成11年	大阪国際交流センター	160名
第16回	地域のネットワーク、 そして心のネットワーク	鈴木 三央	平成12年	安田生命大阪アカデミア	156名
第17回	リクエストは作業療法！！ ～21世紀の介護を支える リハビリテーション～	石山 満夫	平成13年	さんくすホール	209名
第18回	子どもから大人まで女性の総合的支援 ～作業療法士がつくる 生活応援ネットワーク～	辻 薫	平成14年	ドーンセンター (大阪府女性総合センター)	500名
第19回	大阪の作業療法士のネットワークを築く	山田 剛	平成15年	大阪市立総合医療センター さくらホール	194名
第20回	作業療法の治療効果と可能性	櫛部 勇	平成16年	大阪医科大学 臨床第1・第2講堂	389名

開催学会一覧

回	テーマ	学会長	開催年	会場	参加者
第21回	つながろう、そしてひろげよう	山本 芳恵	平成17年	堺市立西文化会館 (ウエスティ)	347名
第22回	人づくり、ものづくり ～遊びごころを大切に～	馬屋原 学	平成18年	大阪市立総合医療センター さくらホール	383名
第23回	語り継ぐ業(わざ)、受けつぐ業(わざ) ～過去から現在、現在からみらいへ～	横井 賀津志	平成19年	関西福祉科学大学	340名
第24回	NEXT ～これからのコミュニケーションを考える～	上田 卓司	平成20年	八尾プリズムホール	287名
第25回	作業療法はおもしろい ～あなたにも知ってほしい～	福井 幸恵	平成21年	池田市文化会館	213名
第26回	集まれナニワ わになれナニワ	小室 幸芳	平成22年	大阪市立男女共同参画 センター(クレオ大阪南)	279名
第27回	生活を支えるネットワーク ～みんなの輪で、誰もが暮らしやすい地域づくり～	嶋谷 和之	平成23年	大阪市立男女共同参画 センター(クレオ大阪南)	206名
第28回	人は作業をすることで健康になれるのか？	松下 太	平成24年	四條畷学園短期大学	604名
第29回	今、作業療法士に求められること	吉田 文	平成26年	大阪保健医療大学	385名
第30回	おおさかの底力	木瀬 憲司	平成27年	大阪国際交流センター	298名
第31回	30年の歴史、次の世代へ！	中川 正巳	平成28年	大阪国際交流センター	390名
第32回	笑いのチカラ 活動・人・場所・時間	松本 茂樹	平成29年	大阪国際交流センター	360名
第33回	”Eureka！！” ”OTばっかれー”	中西 英一	平成30年	藍野大学	341名
第34回	Mesh With Feeling ～AI時代に生き残るコミュニケーション～	河合 英紀	令和元年	大阪狭山市文化会館	563名
第35回	新しいOT様式 ～これからの生活をデザインする作業療法～	岸村 厚志	令和3年	WEB開催(ZOOM)	535名
第36回	倦まず、弛まず、明日に続く作業療法。 ～飽きず怠けず、こつこつと努力し続ける。	牟田 博行	令和4年	12/10 WEB開催(ZOOM) 12/11 森ノ宮医療大学	420名
第37回	ユニバーサルなまちへ向かって	藤原 太郎	令和5年	和泉シティプラザ	469名
第38回	社会にアウトプットする力	尾藤 祥子	令和6年	藍野大学	523名
第39回	作業療法の未来図 ～多様なフィールドで広がる可能性～	芳賀 大輔	令和7年	大阪国際交流センター	523名

近畿作業療法学会(大阪開催)

回	テーマ	学会長	開催年
第2回	ホスピスの現状と将来について	辰巳 三代子	昭和57年
第4回	脳と機能	中川 昭三	昭和59年
第8回	ラストオーダーは"Comfort tonic" 気楽に(Comfortable),徹底的に(Tonic) 話し合うというのはけっこうやさしい。	中村 春基	昭和63年
第14回	生活と社会と作業療法	長辻 永喜	平成6年
第20回	来て・見て・あそんで21世紀の作業療法	上田 任克	平成12年
第26回	これからの作業療法	藤田 亘	平成18年
第32回	脳の機能と作業療法	高畑 進一	平成24年
第38回	みえる わかる かわる 伝える 伝わる 作業療法	辻 薫	平成30年
第44回	Well-Beingに寄与する作業療法	松下 太	令和6年

日本作業療法学会(大阪開催)

回	テーマ	学会長	開催年	会場	演題数	参加者
第14回	障害者・障害児とともに	松下 起士	昭和55年	大阪府立労働センター	60	485名
第26回	豊かに生きるための ～生活・遊び・ゆとり～	辰巳 三代子	平成4年	大阪国際交流センター	259	1177名
第47回	地域に暮らす ～生活を支える作業療法～	長辻 永喜	平成25年	大阪国際会議場	1079	4953名

全国研修会(大阪開催)

回	テーマ	学会長	開催年	会場
第38回	街が作業療法士を育てる	伊藤(茂原)直子	平成17年	大阪国際交流センター

歴代役員 部門代表一覧

平成28年度（2016年）

会長	上田 任克
副会長	松本 茂樹
副会長	関本 充史
理事・事務局長	岸村 厚志
理事	辻 薫
理事	木瀬 憲司
理事	芳賀 大輔
理事	藤原 太郎
理事	牟田 博行
理事	中川 正巳
理事	上島 健
理事	河合 英紀
理事	巽 絵理
理事	徳永 修宗
理事	戸松 好恵
理事	松下 太
理事	中西 英一
理事	林 辰博
監事	山下 協子
監事	古志 康則
庶務部 庶務係	岩槻 厚
庶務部 情報係	上田 卓司
財務部	吉川 礎弘
事業部	関本 充史
保険部	平尾 和久
福利厚生部	中辻 強
事業部 地域包括ケアプロジェクトチーム（介護予防）	朝山 一郎
事業部 地域包括ケアプロジェクトチーム（地域ケア会議）	細本 愛子
事業部 認知症支援プロジェクトチーム	野崎 健
広報部	稲本 弥佐
事業部 作業療法推進活動部門	鎌田 大啓
学術部運営	内藤 泰男
学術部 就労と地域生活研究会	吉田 文
学術部 大阪うつ病作業療法研究会	芳賀 大輔
学術部 統合失調症セルフエフィカシー研究会	小川 泰弘
学術部 OTけん玉研究会	村橋 大輔
学術部 生体工学的指標・生活研究会	福原 啓太
学術部 北摂発達生活行為研究会	北山 淳
学術部 障害者メイクアップ研究会	足立 一
学術部 機関誌編集部門	橋本 弘子
教育部	福井 幸恵
事業部 身体部門	永田 作馬
事業部 発達部門	丹葉 寛之
事業部 老年期部門	野崎 健
事業部 精神部門	藤原 耕志
事業部 生活行為向上マネジメントチーム	伊藤 直子
事業部 がんリハ	島崎 寛将
事業部 就労支援ワーキンググループ	吉田 文
倫理委員会	中西 英一
企画委員会	松下 太
規約委員会	島 宏和
表彰委員会	長辻 永喜
選挙管理委員会	横山 由梨子
災害対策委員会	木村 基
地域医療対策委員会	山下 協子
豊能ブロック	寺島 正晃
三島ブロック	夏堀 さとい
大阪市北ブロック	林 辰博
大阪市南ブロック	米持 喬
北河内ブロック	牟田 博行
中河内ブロック	浅田 健吾
南河内ブロック	岡本 宗
堺ブロック	松元 一世
泉州ブロック	佐川 雅俊

平成29年度（2017年）

会長	上田 任克
副会長	松本 茂樹
副会長	関本 充史
理事	岸村 厚志
理事	辻 薫
理事	木瀬 憲司
理事	芳賀 大輔
理事	藤原 太郎
理事	牟田 博行
理事	中川 正巳
理事	上島 健
理事	河合 英紀
理事	巽 絵理
理事	徳永 修宗
理事	戸松 好恵
理事	松下 太
理事	中西 英一
理事	林 辰博
監事	山下 協子
監事	古志 康則
庶務チーム	岩槻 厚
情報チーム	亀井 大作
財務部	吉川 礎弘
事業部	関本 充史
保険部	平尾 和久
福利厚生部	中辻 強
地域包括ケア委員会（介護予防）	朝山 一郎
地域包括ケア委員会（地域ケア会議）	細本 愛子
認知症支援推進委員会	野崎 健
特別支援教育委員会	丹葉 寛之
広報部	稲本 弥佐
作業療法推進部	鎌田 大啓
学術部	井口 知也
学術部 生体工学的指標・生活研究会	福原 啓太
学術部 北摂発達生活行為研究会	北山 淳
学術部 障害者メイクアップ講座研究会	林部 美紀
ジャーナル編集部	橋本 弘子
教育部	中川 正巳
新人教育チーム	福井 幸恵
身体領域チーム	永田 作馬
発達期領域チーム	木村 基
老年期領域チーム	徳永 修宗
精神領域チーム	藤原 耕志
生活行為向上マネジメント委員会	伊藤 直子
倫理委員会	中西 英一
企画委員会	松下 太
規約委員会	島 宏和
表彰委員会	長辻 永喜
選挙管理委員会	横山 由梨子
災害対策委員会	木村 基
福祉用具委員会	中川 正巳
大阪市北ブロック	山元 昭彦
大阪市南ブロック	米持 喬
三島ブロック	夏堀 さとい
豊能ブロック	寺島 正晃
堺市ブロック	松元 一世
北河内ブロック	柳川 明義
中河内ブロック	浅田 健吾
南河内ブロック	岡本 宗
泉州ブロック	佐川 雅俊

歴代役員 部門代表一覧

平成30年度（2018年）

会長	関本 充史
副会長	松本 茂樹
副会長	松下 太
事務局長	岸村 厚志
理事	辻 薫
理事	木瀬 憲司
理事	藤原 太郎
理事	牟田 博行
理事	中川 正巳
理事	河合 英紀
理事	巽 絵理
理事	徳永 修宗
理事	中西 英一
理事	林 辰博
理事	神尾 昭宏
理事	永田 作馬
理事	藤原 耕志
理事	野崎 健
理事	園山 真弓
理事	田丸 佳希
監事	伊藤 直子
監事	加藤 敏一

総務部長・庶務チーム	岩槻 厚
情報チーム	亀井 大作
財務部	吉川 礎弘
事業部	関本 充史
保険部	平尾 和久
福利厚生部	中辻 強
広報部	稲本 弥佐
作業療法推進部	重田 寛人
学術部	井口 知也
学術部 生体医工学的指標・生活研究会	福原 啓太
学術部 障害者メイクアップ講座研究会	林部 美紀
ジャーナル編集部	橋本 弘子
教育部	田丸 佳希
新人教育チーム	福井 幸恵
身体領域チーム	黄本 泰勲
発達期領域チーム	木村 基
老年期領域チーム	徳永 修宗
精神領域チーム	沖井 健太
生活行為向上マネジメント委員会	神尾 昭宏
倫理委員会	中西 英一
企画委員会	松下 太
規約委員会	島 宏和
表彰委員会	長辻 永喜
選挙管理委員会	横山 由梨子
災害対策委員会	木村 基
認知症支援推進委員会	野崎 健
地域包括ケア委員会(介護予防)	朝山 一郎
地域包括ケア委員会(地域ケア会議)	細本 愛子
福祉用具委員会	小島 久典
特別支援教育委員会	丹葉 寛之
運転と作業療法委員会	牟田 博行
三島ブロック	福阪 涼子
豊能ブロック	寺島 正晃
大阪市北ブロック	山元 昭彦
大阪市南ブロック	田中 歩
北河内ブロック	柳川 明義
中河内ブロック	浅田 健吾
南河内ブロック	岡本 宗
堺市ブロック	松元 一世
泉州ブロック	佐川 雅俊

令和元年度（2019年度）

会長	関本 充史
副会長	松本 茂樹
副会長	松下 太
理事	岸村 厚志
理事	辻 薫
理事	木瀬 憲司
理事	牟田 博行
理事	藤原 太郎
理事	中川 正巳
理事	河合 英紀
理事	巽 絵理
理事	徳永 修宗
理事	中西 英一
理事	林 辰博
理事	神尾 昭宏
理事	永田 作馬
理事	藤原 耕志
理事	野崎 健
理事	園山 真弓
理事	田丸 佳希
監事	伊藤 直子
監事	加藤 敏一

総務部長・庶務チーム	岩槻 厚
情報チーム	亀井 大作
財務部	吉川 礎弘
事業部	関本 充史
保険部	平尾 和久
福利厚生部	中辻 強
地域包括ケア委員会(介護予防)	朝山 一郎
地域包括ケア委員会(地域ケア会議)	細本 愛子
認知症支援推進委員会	野崎 健
広報部	稲本 弥佐
作業療法推進部	重田 寛人
学術部	井口 知也
学術部 生体医工学的指標・生活研究会	福原 啓太
学術部 障害者メイクアップ講座研究会	林部 美紀
ジャーナル編集部	橋本 弘子
教育部	田丸 佳希
新人教育チーム	福井 幸恵
身体領域チーム	黄本 泰勲
発達期領域チーム	木村 基
老年期領域チーム	徳永 修宗
精神領域チーム	沖井 健太
倫理委員会	中西 英一
企画委員会	松下 太
生活行為向上マネジメント委員会	神尾 昭宏
規約委員会	島 宏和
表彰委員会	長辻 永喜
選挙管理委員会	横山 由梨子
災害対策委員会	木村 基
福祉用具委員会	小島 久典
特別支援教育委員会	丹葉 寛之
運転と作業療法委員会	牟田 博行
三島ブロック	福阪 涼子
豊能ブロック	寺島 正晃
大阪市北ブロック	山元 昭彦
大阪市南ブロック	田中 歩
北河内ブロック	柳川 明義
中河内ブロック	浅田 健吾
南河内ブロック	岡本 宗
堺市ブロック	松元 一世
泉州ブロック	佐川 雅俊

歴代役員 部門代表一覧

平成2年度（2020年）

会長	関本 充史
副会長	松本 茂樹
副会長	松下 太
事務局長	岸村 厚志
理事	辻 薫
理事	中川 正巳
理事	木瀬 憲司
理事	牟田 博行
理事	藤原 太郎
理事	林 辰博
理事	野崎 健
理事	永田 作馬
理事	神尾 昭宏
理事	園山 真弓
理事	田丸 佳希
理事	亀井 大作
理事	橋本 弘子
理事	中村 愛子
理事	田中 歩
理事	浅田 健吾
監事	伊藤 直子
監事	加藤 敏一
庶務チーム	岩槻 厚
情報チーム	小谷 真以
財務部	吉川 礎弘
事業部	関本 充史
保険部	林 良太
福利厚生部	中辻 強
広報部	稲本 弥佐
作業療法推進部	松元 一世
学術部	井口 知也
ジャーナル編集部	中西 一
教育部	神尾 昭宏
新人教育チーム	福井 幸恵
身体領域チーム	黄本 泰勲
発達領域チーム	木村 基
老年期領域チーム	中野 正俊
精神領域チーム	沖井 健太
倫理委員会	永田 作馬
企画委員会	松下 太
規約委員会	島 宏和
表彰委員会	長辻 永喜
選挙管理委員会	横山 由梨子
災害対策委員会	木村 基
生活行為向上マネジメント委員会	中村 元紀
認知症支援推進委員会	菅沼 一平
地域包括ケア委員会	大山 勝範
福祉用具委員会	中川 正巳
特別支援教育委員会	丹葉 寛之
運転と作業療法委員会	牟田 博行
臨床実習委員会	松下 太
就労支援委員会	寺村 肇
大阪市北ブロック	田淵 成臣
大阪市南ブロック	片岡 亜衣
三島ブロック	岡 孝次
豊能ブロック	寺島 正晃
堺市ブロック	松元 一世
北河内ブロック	中川 英俊
中河内ブロック	平山 公章
南河内ブロック	保田 憲吾
泉州ブロック	奥森 篤志

令和3年度（2021年）

会長	関本 充史
副会長	松本 茂樹
副会長	松下 太
事務局長	岸村 厚志
理事	辻 薫
理事	木瀬 憲司
理事	牟田 博行
理事	藤原 太郎
理事	林 辰博
理事	野崎 健
理事	永田 作馬
理事	神尾 昭宏
理事	園山 真弓
理事	田丸 佳希
理事	亀井 大作
理事	橋本 弘子
理事	中村 愛子
理事	田中 歩
理事	浅田 健吾
監事	松下 卓也
監事	伊藤 直子
監事	加藤 敏一
庶務チーム	岩槻 厚
情報チーム	小谷 真以
財務部	吉川 礎弘
事業部	関本 充史
保険部	林 良太
福利厚生部	中辻 強
広報部	稲本 弥佐
作業療法推進部	松元 一世
学術部	井口 知也
ジャーナル編集部	中西 一
教育部	神尾 昭宏
新人教育チーム	福井 幸恵
身体領域チーム	内園 直人
発達領域チーム	木村 基
老年期領域チーム	中野 正俊
精神領域チーム	沖井 健太
倫理委員会	永田 作馬
企画委員会	松下 太
規約委員会	島 宏和
表彰委員会	長辻 永喜
選挙管理委員会	横山 由梨子
災害対策委員会	塩屋 博史
生活行為向上マネジメント委員会	中村 元紀
認知症支援推進委員会	菅沼 一平
地域包括ケア委員会	大山 勝範
福祉用具委員会	内田 嘉央理
特別支援教育委員会	丹葉 寛之
運転と作業療法委員会	牟田 博行
臨床実習委員会	松下 太
就労支援委員会	寺村 肇
大阪市北ブロック	田淵 成臣
大阪市南ブロック	片岡 亜衣
三島ブロック	岡 孝次
豊能ブロック	寺島 正晃
堺市ブロック	松元 一世
北河内ブロック	中川 英俊
中河内ブロック	平山 公章
南河内ブロック	保田 憲吾
泉州ブロック	奥森 篤志

歴代役員 部門代表一覧

令和6年度（2024年）

会長
副会長
副会長
副会長
事務局長
理事・学術局長
理事・地域局長
理事・社会局長
理事
監事
監事

庶務チーム
情報チーム
財務部
事業部
保険部
福利厚生部
地域包括ケアチーム
認知症支援推進チーム
こども発達サポートチーム
広報部
作業療法推進部
学術部
機関誌編集室
3士会合同研修部
教育部
新人教育チーム
身体領域チーム
発達領域チーム
老年期領域チーム
精神領域チーム
生活行為向上マネジメントチーム
倫理委員会
企画委員会
規約委員会
表彰委員会
選挙管理委員会
災害対策委員会
福祉用具委員会
運転と作業療法委員会
臨床実習委員会
就労支援委員会
ICT活用支援推進委員会
大阪市北ブロック
大阪市南ブロック
三島ブロック
豊能ブロック
北河内ブロック
中河内ブロック
南河内ブロック
堺ブロック
泉州ブロック

藤原 太郎
辻 薫
田中 歩
永田 作馬
松下 卓也
神尾 昭宏
浅田 健吾
中村 愛子
岸村 厚志
木瀬 憲司
牟田 博行
林 辰博
園山 真弓
石丸 大貴
田丸 佳希
田淵 成臣
大石 和也
川村 明代
花田 恵介
井口 知也
関本 充史
松下 太

岩槻 厚
小谷 真以
吉川 礎弘
関本 充史
左川 大樹
中辻 強
大山 勝範
松本 祥平
田中 裕二
横井 翼
池辺 健太郎
井口 知也
中西 一
神尾 昭宏
木瀬 憲司
福井 幸恵
内園 直人
長尾 将利
宮本 年也
小川 泰弘
中村 元紀
永田 作馬
牟田 博行
梅田 錬
長辻 永喜
横山 由梨子
塩屋 博史
内田 嘉央理
牟田 博行
松下 太
寺村 肇
河津 聡
荒木 雅子
片岡 亜衣
中野 皓介
寺島 正晃
中川 英俊
平山 公章
藤原 光樹
篠浦 泰畿
竹林 弘平

令和7年度（2025年）

会長
副会長
副会長
副会長
事務局長
理事・学術局長
理事・地域局長
理事・社会局長
理事
監事
監事

庶務チーム
情報チーム
財務部
事業部
保険部
福利厚生部
地域包括ケアチーム
認知症支援推進チーム
こども発達サポートチーム
広報部
作業療法推進部
学術部
機関誌編集室
3士会合同研修部
教育部
新人教育チーム
身体領域チーム
発達領域チーム
老年期領域チーム
精神領域チーム
生活行為向上マネジメントチーム
倫理委員会
企画委員会
規約委員会
表彰委員会
選挙管理委員会
災害対策委員会
福祉用具委員会
運転と作業療法委員会
臨床実習委員会
就労支援委員会
ICT活用支援推進委員会
大阪市北ブロック
大阪市南ブロック
三島ブロック
豊能ブロック
北河内ブロック
中河内ブロック
南河内ブロック
堺ブロック
泉州ブロック

藤原 太郎
辻 薫
田中 歩
永田 作馬
松下 卓也
神尾 昭宏
浅田 健吾
中村 愛子
岸村 厚志
木瀬 憲司
牟田 博行
林 辰博
園山 真弓
石丸 大貴
田丸 佳希
田淵 成臣
大石 和也
川村 明代
花田 恵介
井口 知也
関本 充史
松下 太

岩槻 厚
小谷 真以
吉川 礎弘
関本 充史
左川 大樹
中辻 強
万澤 大輔
紀 皓大
松本 祥平
田中 裕二
横井 翼
松島 佳苗
上野 将也
中西 一
神尾 昭宏
木瀬 憲司
福井 幸恵
内園 直人
長尾 将利
宮本 年也
小川 泰弘
中村 元紀
永田 作馬
牟田 博行
梅田 錬
関本 充史
横山 由梨子
塩屋 博史
内田 嘉央理
牟田 博行
松下 太
寺村 肇
河津 聡
荒木 雅子
片岡 亜衣
中野 皓介
寺島 正晃
中川 英俊
山本 祐平
藤原 光樹
篠浦 泰畿
竹林 弘平

大阪府作業療法士会作成パンフレット

パーキンソン病の
日常生活動作の工夫 **第2版**



パーキンソン病の方々と
作業療法士からの提案

大阪府作業療法士会
パーキンソンシンドローム研究会

パーキンソン病の
日常生活動作の工夫



パーキンソン病の方々と
作業療法士からの提案

 社団法人 大阪府作業療法士会 学術部
パーキンソンシンドローム研究会

暮らしに活かす
脳作業日誌



大阪府作業療法士会 学術部 認知症予防研究会
(2006-2007)

発達障がいのある児童・生徒への
学習および学校生活援助
作業療法士からの提案



社団法人 大阪府作業療法士会

発達が気になる子の
生活と学習の工夫がわかる
一家族向けテキスト



一般社団法人 大阪府作業療法士会

仕事と生活 裏ワザブック
あなたらしく暮らすためのヒント集



一般社団法人 大阪府作業療法士会

脳に損傷を受けた方の
自動車運転
ガイドブック Ver.3



 一般社団法人 大阪府作業療法士会 運転と作業療法委員会

「発達が気になる子」の
相談事例紹介
～作業療法士のアイデアとできること～



各種パンフレット QR コード



表彰受賞者

西暦（和暦） 受賞者

厚生労働大臣表彰

1986（昭和 61）年 辰巳 三代子、時武 治雄
2016（平成 28）年 谷合 義旦、上田 任克、長辻 永喜

憲法記念日知事表彰

2015（平成 27）年	長辻 永喜	2016（平成 28）年	大西 和孝
2017（平成 29）年	井上 英治	2018（平成 30）年	古志 康則
2019（平成 31）年	上田 任克	2020（令和 2）年	加藤 敏一
		2025（令和 7）年	松本 茂樹

医療功労賞

1983（昭和 58）年	中川 昭三	1986（昭和 61）年	川合 輝子
1988（昭和 63）年	西崎 吉政	1989（平成 元）年	辰巳 三代子
1990（平成 2）年	河合 洋一	1992（平成 4）年	衣川 満哉
1994（平成 6）年	松下 起士	2012（平成 24）年	茂原 直子
2016（平成 28）年	辻 薫		

日本公衆衛生協会会長表彰

2013（平成 25）年 西村 真喜子

日本義肢装具学会 飯田賞

1993（平成 5）年 *谷合 善旦
2009（平成 21）年 福井 信佳

*：他都道府県士会所属時の受賞

日本作業療法士協会 協会表彰（原則、大阪府作業療法士会からの推薦受賞を記載）

1996（平成 8）年 時武 治雄、松下 起士、篠田 峯子、*谷合 義旦
1999（平成 11）年 辰巳 三代子
2001（平成 13）年 姜 石川
2002（平成 14）年 中川 良裕、*寺山 久美子
2005（平成 17）年 佐竹 勝
2006（平成 18）年 長辻 永喜、上田 任克
2007（平成 19）年 藤田 亘、羽床 友宏、日垣 一男
2008（平成 20）年 大西 和孝
2011（平成 23）年 谷口 英治、茂原 直子、田村 修二、加藤 敏一
2012（平成 24）年 酒井 ひとみ、井上 英治、古志 康則

日本作業療法士協会 功労表彰（原則：大阪府作業療法士会からの推薦受賞を掲載）

- 1996（平成 8）年 衣川 満哉、米永 まち子、西崎 吉政、川合 輝子
1998（平成 10）年 田中 三雄
1999（平成 11）年 中江 ツユ子
2001（平成 13）年 森田 早紀子、山田 慶子
2004（平成 16）年 山下 協子
2005（平成 17）年 木俣 祐子、西村 真喜子
2006（平成 18）年 有賀 喜代子
2007（平成 19）年 小林 貴代、銀山 章代、北泊 あけみ、辻 薫
2008（平成 20）年 目良 幸子、井上 美代子
2009（平成 21）年 川邊 利子、辰巳 良明、福井 信佳、山中 恵美
2010（平成 22）年 中山 広宣、鈴木 三央、西川 京子、祐野 修、津田 勇人
2011（平成 23）年 香西 加朱、上田 卓司、野村 寿子、浅野 裕加子
2012（平成 24）年 出田 めぐみ、馬屋原 学、大西 美智枝、立山 清美、坂之上 豊子
2013（平成 25）年 栗岡 肇、福井 幸恵、俵 あゆみ、田部井 貴久枝、高 容康、
池埜 弥生、澤田 麻里、西出 義明、草賀 謹吾、谷 隆博、藤村 三穂

日本作業療法士協会 特別表彰

- 2014（平成 26）年 高畑 進一

大阪府作業療法士会による表彰

一般社団法人 大阪府作業療法士会 功労賞（現会長を除く歴代会長）

- 2015（平成 27）年 辰巳 三代子、松下 起士、中川 良裕、長辻 永喜
2025（令和 7）年 上田 任克、関本 充史

一般社団法人 大阪府作業療法士会 会長表彰

（会員歴 20 年以上で推薦年度に大阪府作業療法士会会員、かつ役員歴 15 年以上、）

- 2015（平成 27）年 長辻 永喜、大西 和孝、古志 康則、上田 卓司、中川 良裕、
辰巳 三代子、島 宏和、伊藤 直子、鈴木 三央、南 誠一、
松本 茂樹、羽床 友宏、銀山 章代、井上 英治
2016（平成 28）年 吉田 文
2017（平成 29）年 山下 協子
2018（平成 30）年 加藤 敏一、松下 太
2019（平成 30）年 上田 任克、辻 薫、牟田 博行
2022（令和 4）年 岩槻 厚、福井 幸恵
2024（令和 6）年 木瀬 憲司、関本 充史、吉川 礎弘

会員数・施設数

2026年1月15日現在

会員数 2,580名 自宅会員数 444名

施設数 682施設

ブロック別会員所属施設一覧QRコード(2025.4現在)



大阪府内の作業療法士養成校

■ 大 学

藍 野 大 学

大阪河崎リハビリテーション大学

(2026年4月より 和泉大学 に名称変更)

大 阪 公 立 大 学

大阪人間科学大学

大阪保健医療大学

関 西 医 科 大 学

関 西 医 療 大 学

関西福祉科学大学

四 條 畷 学 園 大 学

森ノ宮医療大学

大 和 大 学

医療保健学部 作業療法学科

リハビリテーション学部 作業療法学専攻

医学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻

保健医療学部 作業療法学科

保健医療学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻

リハビリテーション学部 作業療法学科

保健医療学部 作業療法学科

保健医療学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻

リハビリテーション学部 作業療法学科

総合リハビリテーション学部 作業療法学科

保健医療学部 作業療法学専攻

■ 専門学校

大 阪 医 専

大阪医療福祉専門学校

大阪リハビリテーション専門学校

阪奈中央リハビリテーション専門学校

箕面学園福祉保育専門学校

高度作業療法学科

作業療法士学科

作業療法学科

作業療法学科

作業療法学科

先端のリハビリテーション医療と
心のこもったケアで笑顔をとります



医療法人 篤友会

関西リハビリテーション病院





さざんかリハビリ 訪問看護ステーション

当事業所は、職員全員が利用者様への
「思いやり・気付き」を忘れず、業務に努め
「利用者様が主役の在宅生活」をサポート

〒586-0011 大阪府河内長野市汐の宮町2-19

営業時間：月～土 曜日 / 午前9時～午後5時（※祝日営業・24時間対応）

電話：0721-81-3335

事業所番号：2760790101



★募集★ 作業療法士・理学療法士・言語聴覚士

さざんか タクシー



★日産NV200 乗車定員7名

運行中

〈実績案件の紹介〉

遠方外出・日帰り旅行・同窓会・買い物・美容院
季節行事・墓参り・趣味・地元帰省・結婚式・・・

ドライバーは二種免許を取得した作業療法士。利用者様に寄り添う中で、安心して安全な移動手段さえ確保出来れば「価値ある時間・感動の瞬間」を提供出来るのかもしれない外出する事、それは生活内に意識変化や自己選択・決定機会にも繋がるのではないかなそんな・・・「きっかけ作りの介護タクシー」としても、地域の中で役割を担って運行中🚐

大阪府内 全エリア利用可能！
お気軽に、ご相談下さい！

(予約直通)→ 090-7104-8262



だれもが、
住み慣れた街で
いきいきと暮らしていける
世の中をつくる。



あなたを想う、
プロになる。

私たちは、技術と知識を、そして何よりも一人ひとりに向き合う心を磨き、「あなたを想う、プロになる」ための道を歩み続けます。

Linie
リニエグループ

作業療法士を大募集！



リニエグループの採用サイトをチェック▲

人と人とのふれあいを大切に
最良の医療・保健・福祉を追求し続けます。

ヴァンサンクは
フランス語で「25」

24時間ではなく
25時間の価値がある
サービスを提供します。

医療法人
嘉誠会

リハビリ関連施設

介護老人保健施設
ヴァンサンク



「家庭の温かさ」「人と人とのふれあい」を大切にし、心身ともに豊かに暮らすことができるよう様々なサービスや援助をします

大阪市東住吉区湯里2-12-26

ヴァンサンク ポルテ
リハビリ・入浴特化型デイサービス



Porteはフランス語で「扉」を意味します
人と人が「扉」をOPENし
出会い・語り・つながる場を提供します

大阪市東住吉区湯里6-3-27

山本医院
リハビリテーションセンター



住み慣れた地域でいつまでも明るく元気に
楽しく過ごせるように支えていく、そんな
リハビリテーションサービスを提供します

大阪市東住吉区湯里2-5-11

医療法人 嘉誠会

- * 山本医院 リハビリテーションセンター
- * 介護老人保健施設 ヴァンサンク
- * ヴァンサンク ポルテ
- * 嘉誠会訪問看護ステーション
- * 嘉誠会鍼灸マッサージ院
- * 認知症高齢者グループホーム ヴァンサンクソレイユ
- * ヘルパーステーション ヴァンサンク平野
- * ケアプランセンター ヴァンサンク湯里
- * ケアプランセンター 平野
- * ヘルパーステーション ヴァンサンク中野
- * サービス付き高齢者向け住宅 ヴァンサンクフルール
- * 有料老人ホーム ひまわりの家
- * 有料老人ホーム パステル針中野
- * 有料老人ホーム パステル湯里
- * ヴァンサンク定期巡回・随時対応型 訪問介護看護ステーション

社会福祉法人 嘉誠会

- * 中野地域包括支援センター
- * 東住吉オレンジチーム
- * 特別養護老人ホーム ヴァンサンク東住吉
- * 特別養護老人ホーム ヴァンサンクボヌール
- * デイサービスセンター ヴァンサンク
- * 障がい者支援施設 ヴァンサンクの郷
- * ふれあいホーム ヴァンサンクつつじ
- * ワークセンター ヴァンサンクつつじ
- * ヘルパーステーション ヴァンサンク
- * 居宅介護支援 ヴァンサンク

株式会社 ヴァンサンク
* ヴァンサンクLira



安心と未来の笑顔へ

ALL AGES ALL PERSONS

支えを求めているすべての人に、究極のやさしさを
Diversity & Inclusion & Care

訪問看護事業 理学療法士 80名 言語聴覚士 24名 他スタッフ 79名
専門スタッフ 作業療法士 57名 看護師 111名

大阪府・京都府・兵庫県・三重県の4箇所を中心に
様々な事業に取り組んでいます。



訪問看護事業



こども療育事業



通所介護事業

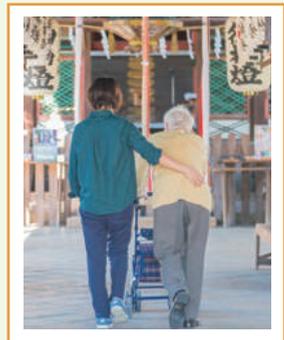
PARC パルク



訪問介護事業



居宅介護支援事業



旅行事業

Rehavel
旅に出る、その一歩を。



ハートケアグループ

株式会社メディケア・リハビリ

〒583-0024

大阪府藤井寺市藤井寺 2-5-4 NTT 藤井寺ビル 2階

TEL:072-979-7704 FAX:072-939-2960



3学部8学科、西日本最大級の 医療系総合大学



リハビリテーション3学部連携の学びでさらなる高みへ

総合リハビリテーション学部

FACULTY OF REHABILITATION



独自の3学科連携カリキュラム！
「総合リハビリテーションIPW 演習」
3年次には総合リハビリテーション学部3学科合同で
チーム医療を学ぶカリキュラムを配置。「症例（病気
やケガの例）」を通じて、リハビリテーション専門職
として包括的チームアプローチの中で果たすべき役
割を修得していきます。



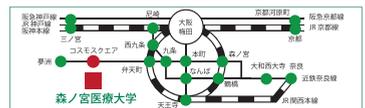
想いのすべてを、医療の力に。
森ノ宮医療大学

☎ 0120-68-8908

<https://www.morinomiya-u.ac.jp>
〒559-8611 大阪市住之江区南港北 1-26-16
E-mail univ@morinomiya-u.ac.jp



広大な海と空を一望！ 大阪ベイエリアに
位置するキャンパス
大阪地下鉄 (OsakaMetro)
中央線「コスモスクエア」駅 徒歩約1分
「大阪(梅田)」「なんば」 30分以内 「神戸(三宮)」「京都」
「天王寺」から 「奈良」方面から 約60分



看護学部
看護学科
総合リハビリテーション学部
理学療法学科
作業療法学科
言語聴覚学科

医療技術学部
臨床検査学科
臨床工学科
診療放射線学科
鍼灸学科

大学院 保健医療学研究科
保健医療学専攻【修士課程】
医療科学専攻【博士後期課程】
看護学専攻【博士前期課程 / 博士後期課程】
専攻科
助産学専攻科【1年課程】

40周年 おめでとうございます



Hope million

株式会社 Hopemillion

代表取締役 河合 愛

「できる、
できないではなく
どうすれば、
できるのかを
考える会社」

新たなステージに
チャレンジしたい
スタッフ
募集中！！



希望や訪問看護ステーション

富田林・泉州・四條畷

代表：090-1448-3452



希望やデイサービス 煌



café コトノハ



就労継続事業所 桜梅桃李



218C
琥珀の日常茶飯

株式会社 GPKH

株式会社 和ごころ

〒594-1103 和泉市浦田町 20-1

和泉リハビリ訪問看護ステーション

和か葉 就労継続支援B型事業所

Community Café 和(にこ)



<https://izumiwagokoro.com>

あたらしさを大切に！





株) BASEともかな

児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援



FLOW



夢中になろう

FLOW上牧・FLOW郡山・FLOW香芝・FLOW岡寺
FLOW西真美・FLOW桜井・FLOW八尾



大阪府吹田市・茨木市・伊丹市の訪問看護、
リハビリはいま訪問看護リハビリステーション

いまを支える、
いまに寄り添う、
いま分かち合う



大阪・寝屋川

医療法人 一祐会
藤本病院グループ
ichiyukai Fujimoto Hospital Group

いのちと暮らしによりそい、 地域とともに70年。



寝屋川の民間病院で最も歴史のある藤本病院（148床）を中核に、介護老人保健施設ハーモニー（100床）、サービス付き高齢者向け住宅シンフォニー（32室）、藤本病院訪問看護ステーション、藤本病院居宅介護支援事業所を展開しています。



私たち一祐会のリハビリテーションは
「一人ひとりの人生のストーリーを創造する」
ことを理念としています。

Instagramはこちら



私たちの日々の活動をご
覧ください
藤本病院
リハビリテーション科

医療法人 一祐会
藤本病院
ichiyukai Fujimoto Hospital

寝屋川市八坂町2-3
(京阪・寝屋川市駅徒歩4分)
☎ 072-824-1212

介護老人保健施設
ハーモニー

寝屋川市寝屋2-14-9
(JR学研都市線・星田駅徒歩4分)
☎ 072-824-2090



株式会社 五輪

ホームページ制作 | 映像制作
印刷デザイン制作 | 写真撮影

大阪府和泉市池上町 3-14-39 B-1
TEL : 0725-99-8480
WEB : <https://gorin-2021.co.jp/>





大阪府作業療法士会
40周年おめでとうございます



あきらめない! あなたとともに暮らしをつくる

千里津雲台訪問看護ステーション



大阪府吹田市津雲台4丁目1番23号
TEL:06-6873-6606
MAIL:ten@ya3.so-net.ne.jp

未来のリハビリテーションを担う人材を育成 作業療法士+αの学びを!

「こども」「くらし」「ヘルスケア」「防災」など、現場に即した学びを通じて
実践力と人間力を備えた人材を、地域社会へ送り出します。

0120-1298-59

HOME PAGE <http://www.ocmw.ac.jp>

E-MAIL info@ocmw.ac.jp

FAX 06-6392-8120

学校法人 大阪造形学園 厚生労働大臣指定校

大阪医療福祉専門学校

〒532-0003 大阪府淀川区高瀬1-2-14

医療総合学科 理学療法士学科 作業療法士学科 保健訓練士学科 言語聴覚士学科

就労移行支援 就労定着支援 就労選択支援 自立訓練

NPO法人日本学び協会

ワンモア

豊中・千里中央/八尾/森之宮



ONEMORE

ご病気や、障害がある方、メンタル不調の方を対象に
就職や復職に向けた支援を行っています。



ワンモアHP



ワンモア森之宮HP

OTの仕事の悩み、 相談してみませんか?



ワンモア森之宮・大学前では、医療福祉従事者を
対象としたメンタルサポート・復職支援、
大学生を対象にした復学支援を行っています。



公式LINE



カフェ オランジュ



〒545-0014 大阪市阿倍野区西田辺町2-5-14
JR 阪和線 鶴ヶ丘駅 長居スタジアムすぐ

☎06-6695-2946 お弁当・貸切お問合せ
✉cafeorange.jp@gmail.com

OPEN 平日11時30分～15時 (土曜日は不定期営業)
CLOSE 日曜日・祝日

salon aimer

心と身体を整えるお手伝い



完全予約制

東大阪市長栄寺7-25 服部ビル301 (近鉄河内永和1分)

ご協賛いただきありがとうございます

古志 康則 様
園山 真弓 様
辻 薫 様
永田 作馬 様
関本 充史 様
松下 卓也 様
中村 愛子 様
田淵 成臣 様
田中 歩 様
藤原 太郎 様

編集後記

大阪府作業療法士会は、本年 40 周年という大きな節目を迎えました。本記念誌の編集を通して、先人の歩みや地域に根ざした実践の積み重ね、そして多くの会員の尽力によって現在の府士会が築かれてきたことを、あらためて実感しました。限られた紙面ではありますが、各原稿からは作業療法への熱意と、時代とともに変化する専門職としての姿勢が感じられます。本誌がこれまでの歩みを振り返ると同時に、次の世代へと想いをつなぐ一冊となれば幸いです。最後に、ご多忙の中ご寄稿・ご協力いただいたすべての皆さまに、心より感謝申し上げます。

40 周年事業準備室

室 長：横井賀津志

室 員：高島聡江、田中歩、中村まい香、
藤原太郎、細川真由、細本愛子、
万澤大輔、宮木しげ美、山田直満

「大阪府作業療法士会 40 周年記念誌」

発行：令和 8 年(2026 年) 2 月 1 日

一般社団法人大阪府作業療法士会

〒540-0004 大阪市中央区玉造 2-16-8 玉造井上ビル 6 階

TEL : 06-6765-3375 FAX : 06-6765-3376 URL <https://osaka-ot.jp>

印刷：株式会社 泉文社

